

平成 30 年度
事 業 報 告 書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 概 要 | 1 |
| 公 1 産業創出支援 | 5 |
| 1 創業者成長支援事業 | 5 |
| 2 創業者市町等支援事業 | 7 |
| 3 新成長産業戦略的育成事業 | 8 |
| 4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業 | 12 |
| 5 E V・自動運転化等技術革新対応促進事業 | 13 |
| 6 静岡型航空産業育成事業 | 14 |
| 7 農商工連携支援事業 | 14 |
| 8 創業資金等支援事業 | 15 |
| 9 地域需要創造型等起業・創業促進事業 | 15 |
| 公 2 経営基盤強化 | 16 |
| 1 中小企業支援センター事業 | 16 |
| 2 下請振興等事業 | 18 |
| 3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業 | 21 |
| 4 中小企業 I o T 活用促進事業 | 23 |
| 5 販売戦略構築支援事業 | 26 |
| 6 事業承継支援事業 | 28 |
| 7 地域経済牽引企業創出支援事業 | 30 |
| 8 高度化資金貸付診断等事業 | 30 |
| 9 経営革新計画支援事業 | 31 |
| 10 設備貸与事業 | 32 |
| 11 中小企業振興貸与事業 | 33 |
| 12 設備資金貸付事業 | 34 |
| 公 3 科学技術研究開発支援 | 34 |
| 1 産学官技術交流促進事業 | 34 |
| 2 地域ビジネス応援事業 | 36 |
| 3 戰略的基盤技術高度化支援事業 | 37 |
| 公 4 フーズ・サイエンスプロジェクト | 38 |
| 1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業 | 38 |
| 2 高付加価値型食品等開発推進事業 | 42 |
| 3 産業人材育成事業 | 43 |

平成 30 年度 事 業 報 告

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

< 概 要 >

平成 30 年度の我が国経済をみると、緩やかな回復基調が続いた。輸出はおおむね横ばいとなつものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつあった。

政府は、平成 31 年度も持続的な成長経路の実現に向けて潜在的成長率を引き上げるため、一人ひとりの人材の質を高める「人づくり革命」と成長戦略の核となる「生産性革命」に最優先で取り組み、「経済再生なくして財政健全化なし」を「平成 31 年度の経済財政運営の基本的態度」として、600 兆円経済と財政健全化目標の達成の双方の実現を目指すこととした。

県内の経済状況に目を移すと、製造業・非製造業とともに 10 月に実施される消費税増税の影響を大きく受けることが予想される。国による導入緩和策が予定されているものの、自動車や住宅など高額な耐久消費財を中心に駆け込み需要の発生が予想され、実施前後には、大幅な需要増減による生産への影響が懸念される。また、米中貿易摩擦の悪化や英国のユーロ離脱といった世界経済の先行きも不透明さが増すなど、外部要因に懸念材料も多い。今後は、増税実施後の反動減をいかに限定的なものとし、持続的回復へ繋げていけるかがポイントとなっている。

静岡県では、実効性のある施策展開により、静岡県経済の持続的な成長を図っていくため、5 つの産業成長戦略を柱とした産業成長戦略 2019 を策定した。

このような状況の中、当産業財団では、他の産業支援機関との連携を強化して事業を進めることとし、平成 30 年度の重点的取組として、創業者の成長支援、中小企業の新成長分野への参入促進のための支援や現場における経営改善活動を促進するための人材育成を実施した。販路開拓支援においては、下請受注の確保、展示会への出展支援を実施した。また、静岡県 IoT 活用研究会の運営等、次世代産業の創出を目指す取組を強化した。また、中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを構築した。併せて県の新産業クラスター政策の一翼を担う「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」への取組を一層推進するなど、事業はおおむね計画どおり実施した。

< 事業総括 >

平成 30 年度の実施事業は、別図のとおりであるが、このうち、新成長分野や県の新産業集積クラスター関連など、当財団が 30 年度に特に重点的に取り組んだ事業は、次のとおりである。

(1) 創業者成長支援事業

事業規模の拡大や、全国・海外への展開を目指すスタートアップ期（創業から 5 年程度）の創業者を対象に、関係支援機関と連携し、経営者等からの先を見据えた視点での助言を元に成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

(2) 新成長産業戦略的育成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新

たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援した。

助成事業では、成長産業分野に関連する自社の研究開発成果を活用して、製品化及びその事業化に取り組む活動係る経費を助成したほか、航空機産業参入条件になっている認証取得については、助成の指定を行った。

支援事業では、セミナー、研修会等の開催、展示会の出展支援、専門家マッチング支援等を実施した。

(3) EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

平成30年度から、EV（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、専門コーディネーターの活用などによる販路開拓支援を推進した。

(4) 専門家派遣事業

創業支援、中小企業の経営基盤向上及び新分野進出等を支援するため、経営・情報・技術・デザイン・ISO等の専門家を派遣し、助言を行った。

(5) 展示会出展支援事業

首都圏で開催され大規模な集客が見込まれる専門展示会の「機械要素技術展」へ静岡県ベースとして出展し、販路開拓を支援、またトヨタ自動車㈱で県内中小企業等の技術や工法を提案する展示商談会を開催した。

(6) しづおかものづくり革新インストラクタースクール実施事業

（一社）ものづくり改善ネットワークと連携し、産業支援機関のコーディネーターや企業の現場管理者等を対象に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開催し、現場における経営改善活動を指導できる人材を養成した。また、養成したインストラクターを中小企業に派遣し、生産現場の改善を支援した。

(7) 中小企業IoT活用支援事業

静岡県IoT活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるIoTの利活用を促進することにより、新たな企業連携・产学研連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。また、ふじのくにICT人材育成プロデューサーを配置し、ICT人材育成の現状調査を実施し、ICT人材育成施策の計画・準備や施策に対する提言・助言を行った。

(8) 販売戦略構築支援事業

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う販売戦略サポート委員会を開催し、伴走型支援を実施した。

(9) 事業承継ネットワーク事務局運営事業

中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを強化した。

(10) 経営革新計画支援事業

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談、申請受付、調査等を、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関等と連携して実施した。

(11) 産学官技術交流促進事業

県内中小企業が、大手企業の保有する開放特許を活用した新事業展開を図ることを目的に、「知的財産マッチング in 浜松」や大学連携による「開放特許を活用したビジネスプランコンテスト」を開催した。

(12) 地域ビジネス応援事業

地域発ビジネスの活性化を応援する目的で、県内中小企業者、特定非営利活動法人、創業者が行う、新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓等に対して、また、産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援として助成金を交付し支援した。

(13) フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、食の機能性に関する情報を収集・発信するとともに、静岡県立大学と連携し、機能性食品にかかるヒト介入試験・システムティックレビューの実施体制を整備した。平成30年度には、静岡県産化粧品産業のプラットフォームを設立、コーディネーターを配置し本格的な支援を始めた。

(14) 高付加価値型食品等開発推進事業

機能性食品など高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援を行うとともに、食品関連企業等が共同して取り組む食品等開発研究会5部会の運営を支援した。

< 決算総括 >

平成30年度の経常収益（事業規模）は、公益目的事業及び法人会計合わせて948,052千円となり、前年度の1,362,385千円に対して414,333千円の減少となった。

経常費用は、988,006千円で前年度の1,524,757千円に対して536,751千円の減少であった。

平成30年度の収益・費用の増減要因としては、特殊要因として平成29年度で、ファルマバレーセンター事業（公益目的事業5、収益目的事業1）を終了したことから、平成29年度の公益目的事業5、収益目的事業1の経常収益500,711千円、経常費用501,632千円が、平成30年度に減少している。

特殊要因以外の収益の増減要因としては、基本財産運用益の増加、地域活性化基金事業終了に伴う特定資産受取利息の減少、設備貸与事業に係る事業収益の減少、戦略的基盤技術高度化支援事業実施に係る受取国庫補助金の増加、新成長産業戦略的育成事業関連に係る助成金メニュー増等に係る受取県補助金の増加、プッシュ型事業承継支援事業の受託に伴う受取国受託金の増加などが挙げられる。

費用としては、コーディネーターの増員等に伴う人件費の増加、設備貸与事業に係る事業費用の減少、専門家派遣事業の派遣回数増に係る謝金の増加、静岡県産化粧品の海外展示会開催に係る賃借料及び燃料費、委託費の増加、助成金メニュー増に係る支払い負担金の増加などが挙げられる。

これらのことから、当期経常増減額は、マイナス39,954千円と、前年度に比べて122,418千円のプラスとなった。当期経常外増減額は、プラス7,833千円と、前年度に比べて2,645千円減少した。このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた額から「法人税、住民税及び事業税」を引いた当期一般正味財産増減額は、マイナス32,121千円と、前年度のマイナス152,015千円に比べてプラス119,984千円となった。

平成30年度事業一覧（決算額）

I 公益事業

965, 292

单位：千円

| | | | | |
|-----------------------|---------|--------------------------|-----------------------------|---------|
| 公1 産業創出支援 | 367,134 | 創業支援 | 1 創業者成長支援事業 | 24,234 |
| | | | 2 創業者市町等支援事業 | 2,337 |
| | | | 3 新成長産業戦略的育成事業 | 207,040 |
| | | | 4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業 | 14,201 |
| 公2 経営基盤強化 | 373,793 | 新分野開拓 | 5 E V・自動運転化等技術革新対応促進事業 | 46,477 |
| | | | 6 静岡型航空産業育成事業 | 45,596 |
| | | | 7 農商工連携支援事業 | 15,050 |
| | | 創業資金支援 | 8 創業資金等支援事業 | 3,233 |
| 公3 科学技術研究開発支援 | 95,672 | | 9 地域需要創造型等起業・創業促進事業 | 1,350 |
| | | | 共通 | 7,617 |
| | | 経営支援 | 1 中小企業支援センター事業 | 84,732 |
| | | | 2 下請振興等事業 | 66,316 |
| 公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト | 113,416 | | 3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業 | 19,649 |
| | | | 4 中小企業 I o T 活用促進事業 | 13,832 |
| | | | 5 販売戦略構築支援事業 | 5,480 |
| | | 経営等診断 | 6 事業承継支援事業 | 15,462 |
| 公3 科学技術研究開発支援 | 95,672 | | 7 地域経済牽引企業創出支援事業 | 8,954 |
| | | | 8 高度化資金貸付診断等事業 | 18,615 |
| | | | 9 経営革新計画支援事業 | 29,147 |
| | | 設備支援 | 10 設備貸与事業 | 88,944 |
| 公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト | 113,416 | | 11 中小企業振興貸与事業 | 2,011 |
| | | | 12 設備資金貸付事業 | 5,545 |
| | | | 共通 | 15,106 |
| | | | | |
| 公3 科学技術研究開発支援 | 95,672 | 1 産学官技術交流促進事業 | 21,459 | |
| | | 2 地域ビジネス応援事業 | 6,411 | |
| | | 3 戰略的基盤技術高度化支援事業 | 63,217 | |
| | | 共通 | 4,585 | |
| 公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト | 113,416 | 1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業 | 96,949 | |
| | | 2 高付加価値型食品等開発推進事業 | 9,177 | |
| | | 3 産業人材育成事業 | 2,228 | |
| | | 共通 | 5,063 | |
| 公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト | 113,416 | 公益目的共通 | 15,277 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

() 内は前年度正味財産増減計算書額

事業費 965, 292 千円 (1, 276, 822 千円)

事業費 367, 134 千円 (273, 499 千円)

公1 産業創出支援

創業者、ベンチャー企業、新事業に挑戦する企業等の多様な経営課題に対する相談・指導、新事業の展開へ向けた資金調達の支援、販路開拓の支援、新分野開拓への支援等、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業者成長支援事業

事業費 24, 233, 864 円

規模拡大、全国市場を目指すスタートアップ期（創業から 5 年程度）の創業者の成長を促進するため、先を見据えた経営者・起業家の視点での助言を元に、関係支援機関と連携し、成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

なお、平成 30 年度公募による新規事業参加者を支援する「ファーストステージ」、平成 29 年度事業参加者を継続支援する「セカンドステージ」の 2 コースを設定し支援した。

○事業参加者・メンター（先輩起業家）・事業協力者

（敬称略）

| 区分 | 企業名（創業年月） | 代表者名 | 企業名（創業年月） | 代表者名 |
|-----------------------|--------------------------|--------|-------------------------|-------|
| ファースト ステージ (9名) | QUICCO SOUND(株) (H25. 7) | 廣井 真 | ハセガワ IT プロデュース (H30. 6) | 長谷川 徹 |
| | (同)SAZARE (H27. 10) | 高橋 節子 | アイデン(株) (H27. 12) | 弓削特俊夫 |
| | ㈱アスタワン (H25. 5) | 久米 幹夫 | ㈱D-zone (H25. 7) | 土橋 武司 |
| | ハルソラ(同) (H29. 2) | 地口 伊智子 | So Juice (H29. 4) | 小林 裕太 |
| | Merge (H27. 10) | 三輪 早苗 | | |
| セカンド ステージ (3名) | Global Jam(株) (H25. 8) | 鈴木 貴子 | オフィスサエコ (H27. 4) | 棟葉 淑子 |
| | 日本パワー・テクノ(株) (H28. 3) | 山本 和則 | | |
| メンター (8名) | ㈱スペースクリエイション | 青木 邦章 | 東海電子(株) | 杉本 一成 |
| | ㈱サンロフト | 松田 敏孝 | ㈱TRINC | 高柳 眞 |
| | ㈱PEER | 佐藤 真琴 | インフィック(株) | 増田 正寿 |
| | ㈱ウェルビーフードシステム | 古谷 博義 | ㈱鈴生 | 鈴木 貴博 |
| 事業協力者 (委託) | 有限責任監査法人トーマツ静岡事務所 | | | |

■参加者評価（5点満点・平均点）

- | | | | |
|------------------|---------|-------------------|---------|
| 1. 提供した支援内容全般 | : 4.3 点 | 2. 財団スタッフの運営・サポート | : 4.5 点 |
| 3. 事業協力者の運営・サポート | : 4.4 点 | 4. 全体的な満足度 | : 4.3 点 |

（1）起業家ミーティング

事業開始時に参加者と関係者のチーム意識の醸成を図るため、「キックオフミーティング」を開催した。以降、集合研修（座学）や事業参加者相互の情報交換、メンターから助言を受けるなど、課題を解決するための創発的な場を提供し、創業者コミュニティの形成を図った。

| 開催日 | テーマ | 講師 | 事業参加者 | メンター |
|-------------|-------------------------------|------------------|-----------------------|------|
| H30. 7. 22 | キックオフミーティング | — | 9名（ファースト） 3名（セカンド） | 7名 |
| H30. 8. 28 | ビジョン | トーマツ静岡事務所 担当者 | 9名（ファースト） | 2名 |
| H30. 9. 25 | 事業環境分析（SWOT分析） | | 9名（ファースト） | 2名 |
| H30. 10. 25 | 戦略策定（アクションプラン） | | 9名（ファースト） | 2名 |
| H31. 1. 15 | ビジネスプラン発表会に向けた プレゼンテーション演習 | トーマツ静岡事務所 担当者 | 3名（ファースト） | |
| H31. 1. 21 | | | 3名（ファースト） | |
| H31. 1. 28 | | | 1名（セカンド） | |
| H31. 1. 30 | | | 3名（ファースト） | |
| | | | 1名（セカンド） | |

■参加者評価：4.4 点（5点満点・平均点）

(2) メンターアドバイス会議

事業参加者の事業計画や経営課題等に対して、メンターから個別に助言を受けるためのメンターアドバイス会議を開催した。

| 開催日 | 事業参加者 | メンター |
|-------------|-----------|------|
| H30. 11. 20 | 8名（ファースト） | 6名 |
| H30. 9. 26 | 1名（セカンド①） | 2名 |
| H30. 9. 27 | 1名（セカンド①） | 1名 |
| H30. 10. 2 | 1名（セカンド①） | 2名 |
| H30. 11. 13 | 1名（セカンド②） | 2名 |
| H30. 11. 15 | 1名（セカンド②） | 2名 |
| H30. 12. 19 | 1名（セカンド②） | 2名 |

(3) ビジネスプラン発表会

事業参加者のビジネスプランの周知及び今後の事業遂行に当っての支援者を広く求めるため、ビジネスプラン発表会を開催した。

| 開催日 | 登壇者 | ビジネスプラン名 | 聴講者 | 会場 |
|-------------------------------------|-----------------|--|-----|-----------------------------------|
| H31. 2. 22 | ハセガワ IT プロデュース | 製造業向け IT コンサルティング事業 | 43名 | トーマツ 静岡事務所 セミナールーム (静岡市) |
| | 株アスタワン | マイコン制御系ソフトからスマホアプリまでの幅広いソフトウェア開発受託 | | |
| | So Juice | キャッシュレス セルフオーダーレジシステム | | |
| | Global Jam(株) | 英語 de おもてなし～インバウンド対応 人材育成&インバウンド・異文化対応コンサルティング～ | | |
| | ハレソラ(同) | テレマーケティング&コールセンター業務受託 | | |
| | MERGE | マージ育休復帰サポート | | |
| | オフィスサエコ | 日本酒を通じたイベントプロデュース やコーディネート及び自社企画商品の販売 | | |
| | 株D-zone | ラバーディップ塗装とオートボディープリント | | |
| | QUICCO SOUND(株) | Bluetooth オーディオ・レシーバー 「OKARA oh. 1 / oc. 1」 | | |
| | (同)SAZARE | タテ収納型ワークアイテムキャリー 「sussu stand by」 | | |
| ■ 「ビジネスプラン発表会」 参加者評価：4.0点（5点満点・平均点） | | ■ 「満足」 57.6% (33通アンケート回収) | | |

(4) 専門家派遣

事業参加者の経営課題を解決するために、専門家を派遣した。

| 派遣先名 | 派遣日 | 派遣専門家 | 支援内容 |
|---------------|------------|-----------------|---------------------------------------|
| Global Jam(株) | H31. 2. 28 | 三宅 佳代子 (税理士) | 海外取引にかかる月次決算及び会計処理方法の指導と、資金繰りの考え方について |
| | H31. 3. 8 | | |
| | H31. 3. 13 | | |

(5) 個別支援等の実施

上記（1）～(4)の事業参加者の事業実施効果を高めるため、事業計画策定等の個別指導やマッチング支援を実施した。

| 個別指導・相談内容 | 個別指導・相談実施回数 |
|--------------|-------------|
| ビジネスマッチングの実施 | 6回 |

| | |
|-------------------------|-----|
| 事業実施に関する個別課題相談 | 3回 |
| 起業家ミーティングに関するフォローアップ | 9回 |
| 展示会出展に係る支援 | 1回 |
| プレゼンテーション作成に関する個別支援 | 2回 |
| セカンドステージ参加者に対する個別支援 | 22回 |
| ビジネスプラン発表会向けプレゼン作成・発表支援 | 12回 |
| 計 | 43回 |
| ■参加者評価：4.5点（5点満点・平均点） | |

2 創業者市町等支援事業

事業費 2,336,573円

創業支援ノウハウ等の少ない県内市町等をサポートし、県内の創業環境の向上を図るために、支援能力向上を目的とした研修会や県内各市町が実施する創業セミナーや創業相談会等の支援を行なった。

（1）創業支援機関ネットワーク会議事業

県内創業支援機関相互の連携強化のため、「創業支援機関ネットワーク会議」を、東部・中部・西部・伊豆の各地区で開催した。

○ 創業支援機関ネットワーク会議

| | | |
|----|------|--------------------------------|
| 西部 | 開催日時 | H30. 6. 26 14:00～16:00 |
| | 会 場 | アクトシティ浜松研修交流センター 51 研修交流室（浜松市） |
| | 出席者数 | 23 機関 29名 |
| 東部 | 開催日時 | H30. 6. 28 14:00～16:00 |
| | 会 場 | プラサヴェルデ 401 会議室（沼津市） |
| | 出席者数 | 29 機関 34名 |
| 中部 | 開催日時 | H30. 6. 29 14:00～16:00 |
| | 会 場 | 静岡県産業経済会館 3階特別会議室（静岡市） |
| | 出席者数 | 26 機関 36名 |
| 伊豆 | 開催日時 | H30. 7. 5 13:00～15:00 |
| | 会 場 | 静岡県下田総合庁舎 4階第8会議室（下田市） |
| | 出席者数 | 13 機関 21名 |

（2）創業支援担当者研修事業

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当職員を対象にし、創業相談に係る知識習得を目的とする研修会を開催した。

○初任者研修

| 開催日 | テーマ | 講師 | 会場 | 参加者 |
|------------------------------|--|--------------------------|--------------------|-----------|
| H30. 6. 18 | 創業支援の基礎知識 ビジネス成功要因①創業者要素 創業支援に求められる能力①伴走力 | 株ハーモニーリンク 代表取締役 馬込 正氏 | 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室 | 23 機関 24名 |
| H30. 7. 9 | ビジネス創造の基礎知識 ビジネス成功要因②事業要素 創業支援に求められる能力②助言力 | | | 23 機関 24名 |
| H30. 7. 30 | 創業の基礎知識 ビジネス成功要因③推進要素 創業支援に求められる能力③管制力 | | | 22 機関 21名 |
| ■参加者評価：「本講座は同僚に勧めたい内容」 97.1% | | | | |

○テーマ別研修

| 開催日 | テーマ | 講師 | 会場 | 参加者 |
|-------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------|-----------|
| H30. 10. 19 | 累計 100 万部発行の創業手帳が教える創業相談のコツ | 創業手帳(株) 代表取締役 大久保幸世 氏 | 静岡県産業経済会館 3階 特別 | 27 機関 30名 |

| | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------|
| | | | 会議室 | |
| ■参加者評価：「本講座は同僚に勧めたい内容」100% | | | | |
| H30. 11. 21 | 移住・創業相談へのアプローチ手法と伴走支援について | ヒロパートナーズオフィス 代表 五島宏明 氏 | レイアップ御幸 町ビル6階 6-C会議室 | 31 機関 32名 |
| ■参加者評価：「本講座は同僚に勧めたい内容」100% | | | | |
| H31. 1. 22 | 身近な女性起業家支援事例に学ぶ ブルーオーシャン型伴走支援とは | 株ビズホープ 代表取締役 寺田 望 氏 | 静岡商工会議所 会館4階 402号 室 | 23 機関 26名 |
| ■参加者評価：「本講座は同僚に勧めたい内容」80.8% | | | | |

(3) 市町個別支援事業

各市町等の創業支援機関が実施する創業セミナー及び創業相談会の実施方法に関するアドバイスの他、財団職員をセミナー講師や相談員として派遣するなど、各市町の創業支援施策実施に関する支援を行った。

○ 市町個別支援

| 相談内容 | 件数 |
|-------------------------|-------|
| 情報提供・情報交換等 | 114 件 |
| 具体的支援(講師派遣、個別相談対応等) | 20 件 |
| 市町等の創業支援事業に対する助言(講師紹介等) | 2 件 |
| 計 | 136 件 |

(4) 創業施策情報提供事業

一元的な情報発信によるワンストップサービスを提供するため、支援施策情報等をホームページ、メールマガジンで配信した。

- 財団専用ホームページによる情報発信(アクセス数) 50,326回
- メールマガジン発行 24回 延べ 60,181人 (2,500人/回)

3 新成長産業戦略的育成事業

事業費 207,039,644円

本県経済の持続的な発展のため、成長が見込まれる産業分野の拡大を図り、国内外の経済情勢の変化を受けにくい多極的な産業構造の形成を目指す。今後の成長が期待される産業分野(新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への、中小企業の参入支援をより一層加速させるとともに、事業化や販路開拓支援にも重点的に取り組み、本県産業の成長力を強化して次世代成長産業の創出を図る。新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業に対し、技術相談から研究開発、事業化・販路開拓まで一貫した支援に取り組んだ。

平成21～24年度は、中小企業成長基盤強化事業において成長産業分野(医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への中小企業の参入支援に取り組み、研究・試作品開発への助成を実施した。その後、平成25年度からは製品化や販路開拓など事業化支援を中心に取り組んだ。また、次世代自動車や新エネルギー等重点的に育成すべき分野を絞り込み、本県産業の成長力を強化するための後継事業とした。新たな成長産業を戦略的に育成するため、企業の参入意欲や市場ニーズが高い「次世代自動車」や「新エネルギー」の分野で「事業化」に軸足を移した支援に取り組んだ。

民間資金を活用するために金融機関の積極的な参画を促す「产学研官金」の連携体制を構築し、効果的な事業実施を図った。

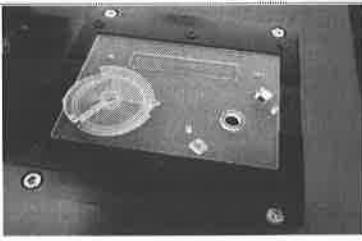
(1) 新成長産業助成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援するため、研究開発、事業化推進への活動に対して助成した。

① 产学研官連携研究開発助成

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学・県内公設試験研究機関と連携して行う取り組みに対して助成した。

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) |
|--------|---------|
|--------|---------|

| | | |
|---|--|---|
| 産学官連携研究開発助成 助成件数 6件 (中小企業 6件) 確定金額44,523千円 | 病原体媒介節足動物を標本としたウイルス迅速簡便検出器の開発 蚊やマダニなどの吸血性節足動物には、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、デング熱、マラリア等の感染症疾患を起こす病原体を媒介するものが存在する。これらの節足動物種は総称して「ベクター」と呼ばれ、ベクターが伝播するウイルス病原体のvDNAを対象に、マルチプレックス等温遺伝子増幅法を基盤とした病原体迅速簡便検出のためのμTAS検査チップおよび検査装置の開発を行う取り組みに助成した。 |  |
| | | 検査チップ(試作品) |

② 中小企業研究開発助成事業

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化目的とした研究開発を行う中小企業の取り組みに対して助成した。

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) |
|-------------------------------------|--|
| 助成件数 1件 (中小企業 1件) 確定金額1,149千円 | 悪性腫瘍の治療に用いる塞栓剤の搅拌注入のためのセンシング技術の開発 悪性腫瘍の治療に用いる塞栓剤の搅拌注入の際に、シリソジ内に生理食塩水中の医療用ビーズの搅拌状態を定量かつ数値化する技術を開発する取り組みに助成した。  |

③ 事業化推進助成

中小企業が、成長分野に関する研究成果を活用した新製品・技術の開発及び事業化のための取組みに対して助成した。

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) |
|--|--|
| 助成件数 10件 (中小企業 10件、 確定金額96,820千円 | 地域内交通を支える小型電動バスの開発 48Vモータ駆動ユニットやリユースリチウムイオン電池セルを活用した電池パックを搭載した4輪独立駆動小型電動バスの開発の取り組みに助成した。  |

<これまでの成果>

| 助成金名 | 助成件数 (累計) | 調査時期 | 商品化件数 | 販売実績のある企業数 | 販売金額 | 知財等取得件数 |
|--------------------------|--------------|-----------------------------|-------|------------------|-------------|---------------|
| 中小企業成長基盤強化事業助成金(H22～H24) | 67社 | H27.4 67社 | 18社 | 17社 (試作品販売含む) | 263,369千円 | 12件 (出願件数) |
| 新成長産業研究開発助成金(H25～) | 87社 | H30.4 59社 (H28年度助成まで) | 11社 | 14社 | 2,705,973千円 | 15件 (出願件数) |

④ 航空機産業認証取得助成

航空機産業参入条件になっている品質マネジメントシステム規格「JIS Q 9100」や国際特殊工程認証システム「Nadcap」の認証取得にかかる経費を助成した。

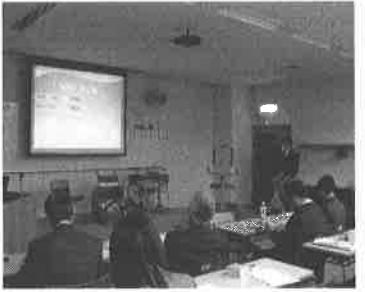
| 事業名・実績 | 助成例 |
|--------|-----|
|--------|-----|

| | |
|------------------|--|
| 航空機産業認証取得助成 | JIS Q 9100、Nadcap |
| ・平成28年度認証取得件数 3件 | |
| ・平成28年度指定件数 2件 | 平成29年度は2社を指定した（JIS Q 9100：2社）。1社は1年で認証を取得し、1社は辞退したため、平成30年度の認証取得は無い。 |
| ・平成29年度認証取得件数 2件 | 平成30年度は2社を指定した（JIS Q 9100：2社）。2年計画のため、認証取得は平成31年度の予定。 |
| ・平成29年度指定件数 2件 | |
| ・平成30年度認証取得件数 0件 | |
| ・平成30年度指定件数 2件 | |

(2) 新成長産業支援事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ、県内中小企業が参入することを支援するため、ビジネスマッチング、啓蒙・啓発、人材育成、販路開拓、調査・研究、試作・実証試験への助成などの事業を行った。

| 分野 | セミナーの開催等 | 展示会への出展 | マッチング |
|---------|----------|--|-------|
| 次世代自動車 | | <ul style="list-style-type: none"> ・第16回全日本学生フォーミュラ大会出展 (H30. 9. 4～9. 8、エコパスタジアム、出展4社)  | |
| 医療・福祉機器 | | <ul style="list-style-type: none"> ・医工連携出会いのサロン(委託)(第26回日本腰痛学会に併設される展示会に出展 (H30. 10. 26～10. 27、アクトシティ浜松コンгресセンター、出展5社) ・MEDTEC Japan 2018出展 (H30. 4. 18～4. 20、東京ビッグサイト、出展12社・機関、成約金額216千円【6ヶ月後】)  | |

| | | | |
|------|--|---|--|
| | <p>医療・福祉機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器分野新規参入アドバイス事業(H30. 5～H31. 2、全8回 116社) ・医工連携スタートアップ支援事業(委託) (採択件数5社)  | <ul style="list-style-type: none"> ・MEDTEC Japan 2019出展 (H31. 3. 18～3. 20、東京ビッグサイト、出展12社・機関、ブース来場者1,215名【期間中】)  | <ul style="list-style-type: none"> ・アンチエイジングジャパン2018への出展支援 (H30. 9. 10～9. 12、東京ビッグサイト、出展：6社、成約金額：359千円【6ヶ月後】) <p>・医薬品・医療機器等法に基づくQMS整備と運用に精通する人材育成に取り組み地域企業を支援した。 専門家派遣企業 4社</p> |
| ロボット | <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット活用による先進ものづくり人材の育成(委託) ロボット体験教室、ロボットプログラミング教室、電子工作等 開催日 H30. 5. 20～H31. 3. 9 (全21回) 開催場所：沼津市、磐田市、静岡市 参加人数：延べ251名  | <p>—</p> | <p>—</p> |

| | | | |
|----------|--|--|---|
| 航空 宇宙 | <ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙中核人材育成事業(委託) <p>西部会場:H30.10.17～H31.3.13 講義:浜松商工会議所 実習:ポリテクナックルレッジ浜松 受講者数 5名</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・国際航空宇宙展2018への出展支援(委託) (H30.11.28～11.30、東京ビッグサイト、出展15社【会期直後】見積依頼:19件 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門家(重工OB)によるマッチング支援(委託) <p>重工メーカー(三菱重工、IHI、多摩川精機等)訪問によるマッチング支援 ①訪問件数: 62件 ②見積件数: 132件 ③売上: 4,000千円</p> |
| 環境 | — | — | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県・浙江省環境プラットフォーム事業(委託) <p>① 県内ビジネスマッチングH30.12.2～12.6 場所: 各県内企業 参加: 浙江省企業2社、県内企業4社</p> <p>② 浙江省ビジネスマッチング、環境協力推進会議 H30.12.20～12.21 場所: 浙江省 参加: 県内企業1社、浙江省企業3社</p> |
| 共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運営(閲覧者数 7,402名)  | | |

＜平成29年度事業の成果＞

| 事業名 | 開催期日 | 開催場所 | 出展者数 | 調査時期 | 成立件数 | 成立金額 |
|-------------------|---------------|----------|------|------|------|----------|
| MEDTEC Japan2017 | H29.4.19～4.21 | 東京ビッグサイト | 10社 | 1年後 | 14件 | 3,787千円 |
| 人とくるまのテクノロジー展2017 | H29.5.24～5.26 | パシフィコ横浜 | 13社 | 1年後 | 8件 | 98,866千円 |
| アンチエイジングジャパン2017 | H29.9.11～9.13 | 東京ビッグサイト | 10社 | 1年後 | 7件 | 2,675千円 |
| 第44回国際福祉機器展 | H29.9.27～9.29 | 東京ビッグサイト | 7社 | 1年後 | 46件 | 7,899千円 |

4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業

事業費 14,200,566円

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と共同で行った先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）終了分野の研究開発成果を活用し、事業化につなげるために、研究開発を行う県内企業に対して助成した。

(1) 助成事業

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) |
|------------|-------------------|
| 先端企業育成プロジェ | 超高性能多層膜光学フィルタの事業化 |

| | | |
|---|---|--|
| エクト事業化推進助成 助成件数 3件 (中小企業 3件) 確定金額14,105千円 | <p>大型スパッタ装置外部環境整備については、工事によって、装置外部の環境が改善され、$0.5 \mu\text{m}$レベルの塵は、100,000レベルから1,000レベルに大幅な改善が見られた。ガラス基板への、塵の付着が抑制され、外観品質の向上につながった。成膜用治具を製作し、基板セット時間の大幅な短縮が実現でき、生産効率を向上させることができた。本研究で試作したフィルタは、工業分野としては、露光装置パーツとしての利用が見込み、量産化が期待できる。</p> <p>なお、本研究で試作したフィルタは、複数社に評価用試作品として納入し、客先で評価を受けている。また、4月に横浜で開催される展示会にも出展する予定。</p> |  大型スパッタ装置 |
|---|---|--|

5 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業費 46,477,212円

平成30年度から、EV（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、専門コーディネーターの活用などによる販路開拓支援を推進した。

(1) 助成事業

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) | |
|--|---|---|
| 次世代自動車技術革新対応促進助成事業 (产学官連携型) 助成件数 2件 (中小企業 2件) 確定金額 7,415千円 | 燃料電池車用サイクロンセパレータの粉粒体分離効率の向上を目指した内部流れ解析及び最適化 F C V用燃料電池のプレフィルターとして使用するためには、最終的にはサイクロンを小型化する必要があり、まずは形状を変更したモデルでの流れ解析を行うことにより最適な形状を選定することを目標とした。数値解析による内部の流線を解析すると、ダストフォルダーに流入し易い(粒子回収効率が大きい)モデルは、流入管角度外向き $\alpha = 10^\circ$ 、コニカル部円錐長さ $1.4 D$ (D はコニカル部最大径) であることがわかった。 |  流れ解析用モデル |
| 次世代自動車技術革新対応促進助成事業 (事業化型) 助成件数 2件 (中小企業 1件、 中堅企業 1件) 確定金額16,737千円 | ナノファイバーによる新規吸音材開発 自動車の騒音の問題に関して既存製品よりも吸音性に優れ、軽量化にも貢献できる製品を研究開発することが目的に3度の試作を実施。今年度の目標数値であった、「1000～2000Hzにおいて吸音率0.7以上」「現行他社品よりも重量を30%低減」を各々達成。次年度は上記の性能を両方備えた吸音材の開発を目指すと共に、最終的な製品形態である成型体への加工まで開発を行う予定。 |  吸音材 |
| 試作品開発助成(次世代自動車) 助成件数 4件 (中小企業 3件、 中堅企業 1件) 確定金額 5,209千円 | 車載ディスプレイの視認性評価装置の試作 視認性評価装置の試作機は完成。模擬車載ディスプレイとしてiPhoneの輝度・色度を、作製した試作機と校正用の輝度計で比較評価を行ったところ、色度X方向の値が、目標制度より高い数値となった。これは赤色成分で誤差がでていることを表しているが、補正をすることで対応可能。人とくるまのテクノロジー展2019出展予定。 |  視認性評価装置 |

(2) 支援事業

| 分野 | セミナーの開催等 | 展示会への出展 | マッチング |
|----|----------|---------|-------|
| | | | |

| | | | |
|--------|---|--|---|
| 次世代自動車 | <p>次世代自動車中核人材育成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 最新動向セミナー H30.9.19、静岡県教育会館、124名/88社・団体 ② 設計シミュレーション実習、H30.10.19、浜松工業技術支援センター、30名/26社 ③ 要素技術研究講座、浜松工業技術支援センター、H30.11.6、H30.11.22、33名/28社・団体 | <p>「人とくるまのテクノロジー展2018」出展(H30.5.23～5.25日、パシフィコ横浜、出展6社、成約金額7,510千円【6ヶ月後】)</p>  | <p>次世代自動車コーディネーター2名配置(財団所属) 企業訪問件数: 128件 (内新規36件)</p> |
|--------|---|--|---|

6 静岡型航空産業育成事業

事業費 45,595,800円

航空機産業における中小企業の受注活動の拡大や技術高度化を図るとともに、MR O(整備・修理・オーバーホール)分野への展開の可能性を検討し、関連産業の視野を広げることを目的とする。

航空機産業の振興を図るため、地方創生推進交付金を活用し、以下の事業に取り組んだ。

(1) 助成事業

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) |
|--|--|
| 航空機産業設備投資事業費補助金 助成件数 5件 (中小企業 5件) 交付確定金額 45,595千円 | <p>形彫放電加工機</p> <p>新規設備では、要求精度[輪郭度0.05]に対し、最大誤差0.0191という良好な結果を出すことができた。加工精度の検証及び高精度電極の設計・製作も行い、良好な結果が出ている。目標を達成し、新規BLADEへの対応は可能であることがわかった。次年度の三菱重工業からの治具及びテストピースの提供を待ち、発注へとつなげていく。本設備を導入したことにより(株)IHIよりジェットエンジン部品の新規受注が現在進行中であり、2019年上期より売り上げを見込める予定。</p>  |

7 農商工連携支援事業

事業費 15,049,939円

地域産業の活性化を図るため、静岡県からの借入金(8.1億円)と当財団からの拠出金(1.9億円)により、平成21年度にしづおか農商工連携基金(総額10億円)を造成した。基金の運用益を、中小企業者と農林漁業者が連携して行う新製品の開発・販路開拓への取組みに対して助成した。

<事業実績>

| 事業名 | 件数 | 確定金額 |
|---------------|-----|----------|
| 新商品・新サービス開発事業 | 8件 | 9,783千円 |
| 販路開拓事業 | 2件 | 2,742千円 |
| 省エネルギー等対策事業 | 1件 | 2,000千円 |
| 計 | 11件 | 14,525千円 |

○助成例(抜粋)

新商品・新サービス開発事業 有限会社仲原商事、高橋茶園

有機発行肥料使用 高糖度茶を使ったソフトサブレ開発

(有)仲原商事の看板商品である「いちご大福」「いちごサブレ」に続く地元素材を使用した新商品を開発したいという思いと、高糖度茶の知名度向上を考えていた高橋茶園の思惑が一致し開発された新商品。社内及び生産者、展示会出展による評価も考慮し開発された商品である。

味の良さだけでなくパッケージのデザインにも定評があるため2019グッドデザイン静岡への応募も検討している。自社店舗での販売のみならず、インターネット通販や展示会で商談を行った海外の業者向けにも販促活動を行っていく予定。



販路開拓事業 株式会社玉澤、有限会社加藤醤油

浜松発ブランドハーブ豚とこだわり素材を活用した新商品の販路開拓

株玉澤が自社で開発した「ふじのくに夢ハーブ豚」と浜松市内で醤油を製造する(有)加藤醤油が連携を組みハーブ豚の新たな提供方法を考え付いた。浜松名物であるうなぎの蒲焼をイメージした味付けとし、味・販売ターゲットに合ったパッケージを会議により模索していった。

展示会に出展した際の味の評価、価格の評価は上々であった。

販売については株玉澤の直営店、株玉澤の持つスーパーマーケットや食品小売店を通じて主に全国の主婦層へのアプローチを考えている。



省エネルギー等対策事業 株式会社ベジラボ、株式会社セイキ建設

インド式低コスト省資源無農薬栽培の実証実験

省資源ドロップ農業による農産物の周年栽培を目指し、インド式農業資材を使用したグリーンハウスの組み立て・実験を行った。実験にはニラを使用して行ったが、一般的な栽培方法に比べ水の使用量・運搬回数が20%となり優位性が見られた。また、一般的のハウスと比べて半額ほどで建設が可能なため価格面でも優位が見られる。

事業期間終了後は数年実証実験を繰り返し、再現性が見られたら販売を行っていく予定。



<これまでの成果>

| 助成金名 | 助成件数 (累計) | 調査時期 | 販売実績のある グループ数 | 販売金額 |
|---------------------|------------------------|---------------------------------|------------------|---------------------------|
| 農商工連携助成金 (H21～) | 106グループ (H30年度助成まで) | H31. 4 (H28年度助成まで) 82グループ | 42グループ | 174, 883千円 (H29年度売上合計) |

8 創業資金等支援事業

事業費 3, 233, 166 円

(1) 創造的中小企業創出支援事業（間接投資）

H8年度以降に実施した創造的中小企業の発行社債についてのベンチャーキャピタル引き受けに対する債務保証業務が終了したため、H24年度で事業は終了した。なお、事業終了後に発生するベンチャーキャピタルからの債権回収業務、日本政策金融公庫に対する信用保険返還業務を引き続き行った。

| | | |
|---|------|------------|
| ・総投資件数及び投資額 (H24年度未債務保証企業及び債務保証額は無し) | 28 件 | 2, 114 百万円 |
|---|------|------------|

9 地域需要創造型等起業・創業促進事業

事業費 1, 350, 059 円

独立行政法人中小企業基盤整備機構から創業補助金の静岡県事務局の委託を受け、H24年度補正予算事業及びH25年度補正予算事業に係る補助金交付先の管理業務を行った。（委託期間 H32. 12末まで）

○ H24年度補正予算事業

| 区分 | 期首管理件数 (A) | 事業廃止件数 (B) | 期末管理件数 (A-B) | 収益納付件数 |
|----|---------------|---------------|-----------------|--------|
| | | | | |

| | | | | |
|--------------|-------|-----|-------|-----|
| 地域需要創造型起業・創業 | 110 件 | 1 件 | 109 件 | 4 件 |
| 第二創業 | 11 件 | 0 件 | 11 件 | 0 件 |
| 海外需要獲得型起業・創業 | 5 件 | 0 件 | 5 件 | 0 件 |
| 計 | 126 件 | 1 件 | 125 件 | 4 件 |

○ 平成 25 年度補正予算事業

| 区分 | 期首管理件数 (A) | 事業廃止件数 (B) | 期末管理件数 (A-B) | 収益納付件数 |
|------|---------------|---------------|-----------------|--------|
| 創業 | 46 件 | 0 件 | 46 件 | 0 件 |
| 第二創業 | 4 件 | 0 件 | 4 件 | 0 件 |
| 計 | 50 件 | 0 件 | 50 件 | 2 件 |

公2 経営基盤強化

事業費 373,793 千円 (359,098 千円)

中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業が抱える経営課題等についての相談や課題解決のための専門家派遣、経営革新への取組に対する指導、下請企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援、現場における経営改善活動を促進するための人材育成等を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 84,731,748 円

経営の助言、調査、研究、情報の提供等を行うことにより中小企業の経営資源の確保を支援した。

(1) 支援体制整備事業

① 支援機関等連携促進事業

○ 県内支援機関等との情報交換・事業連携等のため「創業支援ネットワーク会議」にて情報提供を行った。

| 開催日 | 会議名 | 開催場所 |
|------------|-----|------|
| H30. 6. 26 | | 浜松市 |
| H30. 6. 28 | | 沼津市 |
| H30. 6. 29 | | 静岡市 |
| H30. 7. 5 | | 下田市 |

○ 県内支援機関等との情報交換・事業連携のため支援機関等訪問を実施した。15ヶ所(計画 10 回)

| 訪問日 | 訪問先 | 目的 |
|------------|---------------------------------------|----|
| H30. 5. 24 | 島田信用金庫、島田商工会議所 | |
| H30. 5. 25 | 藤枝商工会議所、焼津商工会議所 | |
| H30. 8. 21 | 下田商工会議所、静岡県賀茂農林事務所 伊東商工会議所、熱海商工会議所 | |
| H30. 8. 29 | 島田市産業支援センター | |
| H30. 9. 3 | 袋井商工会議所 | |
| H30. 9. 18 | 高齢・障害・求職者雇用支援機構 | |
| H30. 9. 19 | 掛川商工会議所、焼津信用金庫 | |
| H30. 9. 21 | 日本政策金融公庫 | |
| H30. 9. 27 | 掛川信用金庫 | |

○ 全国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加および人材交流・支援策調査等を行った。 22 回 22 人 (計画 10 回)

② 支援体制整備事業

○ 専門家の登録及び支援企業の募集

ア. 創業者や中小企業者が抱える問題・課題解決を支援するための専門家（経営、情報化、技術、デザイン、

I S O 分野）の登録更新・新規登録者の募集を行った。なお、登録専門家はホームページ上で公開している。

専門家登録数 H30 年度 当初 418 名→H30 年度末 登録 461 名

イ. パンフレット作成・配付、支援企業訪問、地域の支援機関との連携等による支援対象者の発掘を行った。

(2) 専門家派遣事業

創業や中小企業者の経営基盤向上、新分野進出等を支援するため、経営・情報化・技術・デザイン・ISO分野の専門家の登録、および情報の公開を行い、中小企業者等からの要請に応じて専門家を派遣（1／3受益者負担）し、助言を行った。なお、ISO分野で認証取得を目指す企業に対し長期（1企業10回予定）の専門家派遣を実施し、認証取得の支援を行った。

派遣333件 延べ1,594回（計画 延べ1,750回）

| | 経営 | 情報化 | 技術 | デザイン | ISO | 計 |
|-------|------|------|-----|------|-----|--------|
| 派遣企業数 | 212件 | 68件 | 26件 | 16件 | 11件 | 333件 |
| 派遣回数 | 988回 | 320回 | 1回 | 69回 | 94回 | 1,594回 |

(3) 人材育成・情報提供等事業

① 経営支援担当者研修

中小企業基盤整備機構（中小企業大学校）が実施する支援担当者の支援スキル向上に係る支援担当者研修等及び知的財産関連の知識修得等に関する研修に職員を派遣した。

- ・支援担当者専門研修 5名（計画 5名）
- ・静岡県診断士協会 診断士研修 8名

| 開催日 | テーマ | 開催場所 | 出席者 |
|--------------------|-------------------|---------|-----|
| H30. 7. 24～7. 27 | 経営革新計画の策定とフォローアップ | 中小企業大学校 | 1名 |
| H30. 10. 3～10. 5 | 中小企業の資金調達戦略(1) | | 1名 |
| H30. 11. 28～10. 30 | 中小企業の資金調達戦略(2) | | 1名 |
| H30. 11. 27～10. 30 | 新規創業・第二創業支援の進め方 | | 1名 |
| H30. 12. 3～12. 7 | 営業・販路開拓支援 | | 1名 |
| H30. 8. 25 | 診断士研修（静岡県診断士協会） | 静岡商工会議所 | 7名 |

② ISOセミナー開催

ISOを認証取得している企業又は認証取得しようとする中小企業を対象として、維持推進に必要なISO内部監査員の育成（受益者負担有り）を行った。

- （計画） ISO9001・14001 2コース（各2日間）、受講者 20名／コース
 （実績）

| 開催日 | 研修名 | 開催場所 | 受講者 |
|--------------------|--------------------|--------|-----|
| H30. 10. 5～10. 6 | ISO 9001 内部監査員養成講座 | 産業経済会館 | 27名 |
| H30. 10. 22～10. 23 | ISO14001 内部監査員養成講座 | | 37名 |

(4) 地域中小企業支援センター支援事業

地域中小企業支援センター（17ヶ所）に経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。

| 委託する支援センター | 承認件数 | 相談件数 |
|------------|------|------|
| 下田商工会議所 | 1件 | 6件 |
| 伊東商工会議所 | 3件 | 18件 |
| 熱海商工会議所 | 1件 | 1件 |
| 三島商工会議所 | 15件 | 184件 |
| 沼津商工会議所 | 10件 | 252件 |
| 富士商工会議所 | 25件 | 334件 |
| 富士商工会議所 | 22件 | 81件 |
| 静岡商工会議所 | 43件 | 129件 |
| 焼津商工会議所 | 1件 | 9件 |
| 藤枝商工会議所 | 4件 | 191件 |

| | | |
|--------------|------|--------|
| 島田商工会議所 | 3件 | 35件 |
| 掛川商工会議所 | 1件 | 71件 |
| 袋井商工会議所 | 6件 | 48件 |
| 磐田商工会議所 | 3件 | 50件 |
| 浜松商工会議所 | 18件 | 91件 |
| 静岡県商工会連合会 | 130件 | 132件 |
| 静岡県中小企業団体中央会 | 56件 | 337件 |
| 計 | 342件 | 1,969件 |

2 下請振興等事業

事業費 66,316,494円

県内中小企業への受注拡大を図るため、商談会等による販路開拓機会の提供を行った。

(1) 下請振興事業

① 支援体制整備事業

ア 支援体制整備円滑化事業

下請取引に係わる企業データベース管理のため、企業カルテシステム（セールスフォース）を活用し、受注企業の検索、新規登録企業の入力、各種商談会・展示会の開催周知等を行った。

イ 支援機関等連携促進事業・支援担当者能力開発事業

全国またはブロック単位の会議及び研修会へ参加した。

- 公正取引委員会中部事務所との会議
- 下請かけこみ寺相談員等研修会
- 関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会担当者会議
- 下請かけこみ寺事業に係る関東ブロック情報連絡会議
- 取引支援事業に係る情報連絡会議
- 機械研修
- 中小企業活性化担当者研修

② 窓口相談事業

ア 下請取引に係る苦情相談

・電話等による法律相談（職員回答）にて助言を行った。

| 下請法関係 | | 下請法以外 | |
|-------|-----|-------|------|
| 受領拒否 | 1件 | 債権回収 | 24件 |
| 支払遅延 | 4件 | 契約・取引 | 71件 |
| 代金減額 | 4件 | 損害賠償 | 13件 |
| 返品 | 1件 | 会社経営 | 0件 |
| 買いたたき | 6件 | その他 | 50件 |
| その他 | 2件 | | |
| 計 | 18件 | 計 | 158件 |

イ 顧問弁護士による法律相談

・弁護士による相談（相談日：毎月第2月曜日、年12回実施）

| 相談内容 | 件数 |
|-------|-----|
| 債権回収 | 7件 |
| 契約・取引 | 10件 |
| 損害賠償 | 1件 |
| 会社経営 | 0件 |
| その他 | 1件 |
| 計 | 19件 |

③ 取引あっせん事業

ア 受発注企業の情報提供事業

○下請取引あっせん集計一覧表

| 項目 | 年 度 | | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|------------|--------------|--------------|--------------|
| | 登録企業数 | 発注企業 受注企業 | | |
| | 登録企業数 | 発注企業 受注企業 | 762 2,894 | 762 2,885 |
| | 発注申し出件数 | | 134 | 119 |
| | 受注申し出件数 | | 78 | 71 |
| | あっせん紹介件数 | | 380 | 360 |
| あっせん紹介結果 | 成 立 | | 61 | 62 |
| | 不成立 | | 59 | 52 |
| | 折衝中 | | 728 | 974 |
| | 契約成立当初受注金額 | | 42,793千円 | 63,807千円 |
| | 発注開拓企業件数 | | 130 | 93 |

※下請企業の受注量確保のため、県内外の大手・中堅企業93社（専門調査員巡回74社を含む）に対し巡回による発注開拓を行い、119件の新規発注案件を開拓した。

○情報の提供

静岡新聞、民間情報機関誌等により、受・発注情報を広く提供した。

○専門調査員による受発注企業情報の収集

発注企業情報収集専門調査員（2名）により、受・発注登録企業を巡回し、近況を把握すると共に、各種の相談に応じたほか、発注案件の掘り起こしを行った。また、発注企業74社、受注企業162社を訪問し、56件の発注案件を掘り起こした。

イ 商談会等の開催事業

県内中小企業の取引拡大と販路開拓を支援するため、以下の事業を実施した。

○受発注企業合同商談会

| 開催年月日 | 会場 | 参加企業 | | 商談件数 | 商談成立件数 | 商談成立金額 | 今後発注予定 | 見積り取り交わす | 工場見学済・予定 |
|------------|-----|------|------|------|--------|--------|---------------|----------|----------|
| | | 発注企業 | 受注企業 | | | | | | |
| H30. 11. 9 | 富士市 | 26社 | 72社 | 163件 | | | 令和元年5月に調査実施予定 | | |
| H31. 2. 15 | 浜松市 | 19社 | 61社 | 147件 | | | 令和元年8月に調査実施予定 | | |

<29年度事業の成果>

| 事業名 | 開催期日 | 開催場所 | 出展社数 | 調査時期 | 成立件数 | 成立金額 |
|----------------|------------|------|------------------|------|------|---------|
| 受発注企業 合同商談会 | H29. 10. 5 | 富士市 | 発注 26社 受注 82社 | 1年後 | 9件 | 2,697千円 |

○展示会出展支援

新たな販路開拓を積極的に行う中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展し、販路開拓を支援した。

| 開催期日 | 開催場所 | 展示会名 | 出展社数 | 成立件数 | 成立金額 |
|--|--------------|-----------------|------|------|---------|
| H30. 6. 20 ～ 6. 22 | 東京ビッグ サイト | 第22回 機械要素技術展 | 16社 | 5件 | 3,540千円 |
| ■主催：リード エグジビション ジャパン㈱ ■来場者数：88,679名 ■展示会総出展社数：2,580社 | | | | | |

<29年度事業の成果>

| 事業名 | 開催期日 | 開催場所 | 出展社数 | 調査時期 | 成立件数 | 成立金額 |
|-----------------|-----------------------|----------|------|------|------|---------|
| 第21回 機械要素技術展 | H29. 6. 21 ～ 6. 23 | 東京ビッグサイト | 16社 | 1年後 | 18件 | 5,359千円 |

○特定発注企業展示商談会

トヨタ自動車㈱との新規取引や協力関係の構築を目的に、県内中小企業等の技術や工法を提案する展示商談会を開催した。

| 開催期日 | 会場 | 出展社数 | 来場者数 |
|------------------------|---------|------|-------|
| H30. 11. 21 ～11. 22 | トヨタ自動車㈱ | 47 社 | 775 名 |

<29年度事業の成果>

| 事業名 | 開催期日 | 会場 | 出展社数 | 調査時期 | 成立件数 | 成立金額 |
|-------------|-------------------|----------|------|------|------|------------|
| 特定発注企業展示商談会 | H29. 9. 14 ～15 | (株)デンソー | 44 社 | 1年後 | 6 件 | 12, 690 千円 |
| | H29. 9. 25 | 浜名湖電装(株) | 13 社 | 1年後 | 2 件 | 364 千円 |

ウ 発注企業現況調査

静岡県が県内発注企業 300 社に実施した「発注企業現況調査」の結果に基づき、発注案件「あり」または「検討中」と回答のあった 49 社のうち、20 社に対し発注開拓訪問を行った。

エ 下請取引適正化講習会の開催事業

下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払遅延等防止法」等の内容について講習会を開催した。

【基礎編】

| 回数 | 開催日 | 会場 | 講師 | 参加人数 |
|----|------------|-----------------|---------------------|-------------|
| 1 | H30. 6. 8 | 富士商工会議所 (富士市) | 元下請代金検査官 渡邊 裕芳 氏 | 36 社 104 名 |
| 2 | H30. 6. 12 | 静岡県産業経済会館 (静岡市) | | 45 社 110 名 |
| 3 | H30. 6. 15 | グランドホテル浜松 (浜松市) | | 50 社 184 名 |
| 計 | | | | 131 社 398 名 |

【応用編】

| 回数 | 開催日 | 会場 | 講師 | 参加人数 |
|----|------------|-----------------|----------------------------|------------|
| 1 | H30. 12. 7 | 静岡県産業経済会館 (静岡市) | 公正取引委員会 山下 英照 氏 金山 尚人 氏 | 66 社 121 名 |

(2) 情報支援事業

① 支援体制円滑化事業

ア. 情報機器の整備及び情報収集・提供

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（ビデオ）の貸出等を行うほか、所内のネットワーク機器を整備した。

- ・ホームページへのアクセス件数 50, 326 件
- ・メールマガジンの発行 24 回（月 2 回） 延べ 60, 181 人（2, 500 人／回）
- ・ビデオ・DVD 等貸出 75 件 271 本

イ. 支援機関等連携促進会議の開催

国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加および人材交流・支援策調査等を行った。

IT・IoT 等調査

| 開催日 | 内容 | 開催場所 | 出席者 |
|------------|----------------|----------|-----|
| H30. 5. 31 | スマートファクトリージャパン | 東京ビッグサイト | 2 名 |

ウ. 情報支援担当者研修

全国組織等が開催する情報化支援に関する研修会に担当職員を派遣した。

○ 支援担当者専門研修 1人（計画1人）

| 開催日 | テーマ | 開催場所 | 出席者 |
|---------------------|---------------|-----------|-----|
| H30.10.11 ～10.12 | 中小企業情報化促進セミナー | アルカディア市ヶ谷 | 1名 |

② 窓口等相談事業

中小企業者等からの経営資源に係る情報相談等に対応するため、相談窓口に情報相談員を配置して情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出、インターネット等を活用した検索サービスを行った。

また、静岡県中小企業診断士協会の支援を受け、毎週水曜日に相談員を配置し、創業や経営相談に応じた。

○ 窓口相談件数

(相談内容)

(単位：件)

| 取引相談 | 経営全般 | 資金調達 | マーケティング | 法律・労務・税務 | 技術 | ビジネスプラン | 事業提携・会社設立 | 省エネ・ISO | 特許 | その他 | 合計 |
|------|------|------|---------|----------|----|---------|-----------|---------|----|-------|-------|
| 578 | 45 | 2 | 58 | 1 | 90 | 6 | 2 | 0 | 13 | 1,213 | 2,008 |

3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

事業費 19,648,995円

現場改善による生産性向上によって県内中小企業・小規模事業者の付加価値の増大を促進することを目的に、（一社）ものづくり改善ネットワークと提携し、県内産業支援機関コーディネーターや企業現場管理者（OB含む）等を対象に、現場における経営改善活動（品質向上、コスト低減、納期短縮等）をアドバイスできるインストラクターを養成することを目的とした「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を実施した。

(1) 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の企画・運営に係る人材の配置、開講に向けた準備及びインストラクター派遣に向けた準備等を実施した。

| 項目 | 内容 |
|----------------------|--|
| a スクールの企画・運営に係る人材の配置 | <ul style="list-style-type: none"> スクール校長の配置 スクール校長を補佐する事務局職員の配置 |
| b スクールの開講に向けた準備等 | <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人ものづくり改善ネットワークとのフォローアップ契約等 「スマートものづくり応援隊（国庫補助）」公募事務 スクール実施計画、実施要領の作成 講師の選定及び講師との連絡調整 実習受け入れ企業の選定及び現場実習に対する連絡調整 スクール事業及び現場派遣事業に係る広報活動 |

(2) カイゼン指導者育成事業

現場改善による生産性向上によって県内中小企業の付加価値の増大を促進することを目的に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開講し、現場における経営改善活動（品質向上・コスト低減・納期短縮等）を指導できる人材を養成した。

○ 「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の開講

開講期間：H30.8.24～11.16 全18回

受講者数：29名（現役23名、OB6名）

共 催：静岡商工会議所、焼津商工会議所、藤枝商工会議所、島田商工会議所

【座学】

場 所：静岡県産業経済会館

内 容：東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指し、現場改善手法や現場管理手法等の理論を習得した。

| 回数 | 日 程 | 講師 | 内 容 | | | | |
|------------|--------------------------|----|---|------------|------------------|------------|--------------------------|
| 1 | H30.8.24 | 國方 | <table border="1"> <tr> <td>開講式及びガイダンス</td> <td>講義スケジュールの説明と注意事項</td> </tr> <tr> <td>ものづくりの基礎概念</td> <td>ものづくりとは何か、カリキュラムを一貫する考え方</td> </tr> </table> | 開講式及びガイダンス | 講義スケジュールの説明と注意事項 | ものづくりの基礎概念 | ものづくりとは何か、カリキュラムを一貫する考え方 |
| 開講式及びガイダンス | 講義スケジュールの説明と注意事項 | | | | | | |
| ものづくりの基礎概念 | ものづくりとは何か、カリキュラムを一貫する考え方 | | | | | | |

| | | | 生産性 | 生産性の概念と改善のステップ |
|---|-------------|----|---------------------------------|--|
| | | 濱松 | 5S、5定 | 現場改善手法の原理・原則 |
| 2 | H30. 8. 31 | 伊藤 | 現場改善事例 | トヨタ生産システム、リーン生産方式の考え方 |
| | | | 作業のムダを排除する | 作業・工程改善、リードタイム短縮の切り口、着眼点 |
| | | | 問題発見の着眼点 | 実習を通じた改善への「見える化」 |
| 3 | H30. 9. 7 | 成沢 | VSM（業務プロセス可視化） VSM実習・VSMの活用法 | モノと情報の流れ図の基本 VSMの現状マップと将来マップの作成の仕方 |
| 4 | H30. 9. 14 | 伊藤 | IE実習（生産工学） 生産方式演習 | IE手法の具体的な活用方法 「1個流しプロセス」の演習によるIE手法の実践 |
| 5 | H30. 9. 21 | 國方 | 生産性 | 各種生産性指標と生産性の重要性 |
| | | | 競争力の構成要素 | 企業競争力の構成要素とともに生産組織を分析 |
| | | 仲田 | 生産計画・工程管理・在庫管理 | 納期、生産量、在庫の関係と工程管理の概念 |
| 6 | H30. 9. 28 | 雨宮 | コミュニケーションの進め方 | コミュニケーションを良くする方法 |
| | | | リーダーシップ・部下の育成 | 問題解決のための質問、説得、聴く技術の習得 |
| | | | プレゼンテーションのコツ | 体験事例に基づくプレゼンテーションスキル |
| 7 | H30. 10. 5 | 山本 | 良い流れを作る品質管理 | 不良を作らない品質管理の手法 |
| | | | IoT、AI導入事例と効果 | 生産向上に有効な IoT、AI の具体的な導入事例 |
| | | | 仲田 原価管理と原価低減 | 原価企画、原価維持・改善と原価低減の関連性 |
| 8 | H30. 10. 13 | 濱松 | 良い流れを作る設備レイアウト | 生産形態ごとに適したレイアウトの方法 |
| | | | 設備管理（不良削減とポカ除け含む） | 設備導入及び保全、TPMマネジメント |
| | | | 現場改善の定石 | 現場改善実習に必要な定石の習得 |

【現場実習・成果発表】

場 所：県中部の製造業5社（現場実習）

静岡県産業経済会館（H30.11.16 成果発表会）

内 容：受講者を5グループに分け、ものづくり中小企業5社にて、工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を体得する。また、グループワークを通じ、指導者や現場リーダーに求められる指導力、リーダーシップを習得した。

| 回数 | 日 程 | 講師 | 内 容 |
|----|-------------|----------------|---|
| 9 | H30. 10. 18 | 仲田、伊藤、濱松、山本、斎藤 | 経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定 |
| 10 | H30. 10. 19 | | 現場改善実習 (「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、現場担当者へのヒアリング、レイアウトの見直し、改善の実践 等) |
| 11 | H30. 10. 25 | | チーム改善提案（実習先企業） |
| 12 | H30. 10. 26 | | チーム改善発表（静岡県産業経済会館） |
| 13 | H30. 11. 1 | | |
| 14 | H30. 11. 2 | | |
| 15 | H30. 11. 8 | | |
| 16 | H30. 11. 9 | | |
| 17 | H30. 11. 15 | | |
| 18 | H30. 11. 16 | | |

| 講 義 | 現 场 実 習 | 修了式 |
|-----|---------|-----|
| | | |
| | | |

○ 改善成果

| 企業 | 改善実施項目 | 想定される改善効果 |
|-----------|------------------|----------------|
| A社（空調断熱材） | レイアウト変更、在庫管理の見直し | 在庫スペースの削減（80%） |

| | | |
|--------------|----------------|---------------------------------------|
| B社（制御盤） | 作業工程の見直し | 歩行時間の削減（33%） 工数削減（30%） |
| C社（板金加工） | レイアウト変更、動作分析 | 作業効率、安全性の向上 |
| D社（プラスチック加工） | レイアウト変更、在庫の見直し | 生産リードタイム短縮（12%削減）、 在庫量の削減（8日分→7日分） |
| E社（食品製造） | 生産ラインの見直し | 生産性30%向上 |

○ インストラクター現場派遣

- ・実施期間 H30. 6. 12～H31. 2. 28
- ・派遣回数 延べ45回（延べ7社）

| 企業 | 所在地 | 事業内容 | 派遣回数 | 実施内容・成果 |
|----|-----|---------------|------|---|
| A社 | 浜松市 | 魚肉加工販売 | 7回 | 箱詰め・軽量作業の改善（5人箱詰・1人軽量）による時間当たり加工高の向上 |
| B社 | 磐田市 | 漬物製造販売 | 7回 | レイアウト変更及び作業内容を見直しにより、不良数の減少、品質の安定、作業効率の向上 |
| C社 | 富士市 | 自動車部品用金型の製造 | 7回 | 注文仕様書を作成し、各工程への移動表に添付することで、顧客と各工程での情報の共有化を実現 |
| D社 | 沼津市 | 精密部品加工 | 7回 | 小ロット（60個→15個）生産を提案し、生産リードタイムを72日から53日に短縮。治具の作成による段取り時間の短縮 |
| E社 | 浜松市 | 二輪・四輪プレス、溶接加工 | 7回 | 内段取から外段取への変更による段取時間の短縮。小ロット生産による中間在庫の低減。 |
| F社 | 静岡市 | 自動・省力化機器製造 | 7回 | 配線・組立作業台の改善及作業の標準化による作業効率の向上。赤札活動等を通じた5Sの推進。 |
| G社 | 焼津市 | 水産食料品加工販売 | 3回 | 従業員に対する「ムリ」、「ムラ」、「ムダ」の理解と、現場での作業、動作の見直しを実施し、改善意識を啓蒙。 |

4 中小企業 IoT 活用促進事業

事業費 13,831,779 円

静岡県 IoT 活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業における IoT の利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。

（1）静岡県 IoT 活用研究会

| 【会員数】262社・団体（企業211・産業支援機関21・大学・学校6・金融機関15・市町9） | |
|--|---|
| テーマ別 研究活動 事業 | <p>1. IoT 実践セミナー（静岡版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：H30. 10. 5～10. 6 会場：グランドホテル浜松（浜松市） ・参加者：9社12名 ・参加者業種 金属加工（切削・鋳造・板金・プレス）、樹脂成形、コンクリート製品、化成品（医薬・医薬部外品）加工 ・参加者を3班に分け、グループワーキング形式にて討論。 現状課題の洗い出し→現状を描く→あるべき姿を描く→その実現手段を描く <p>2. 物流等効率化分科会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：H30. 7. 6 会場：静岡県産業経済会館 3F 大会議室 ・参加者：37社44名 ・内 容 <ul style="list-style-type: none"> ◇講演1 『物流関係の IoT 利活用事例』 「IoT を今なぜ取り組む必要があるのか？まずは一步踏み出すキッカケ作り」 講師（一社）クラウドサービス推進機構／IT コーディネーター 柏原 剛 氏 ◇講演2 『ソニー独自 LPWA 方式のご紹介』 「長距離安定通信／高移動性能／低消費電力で特に高速移動体からの安定通信可能」 講師 ソニーセミコンダクタソリューションズ（株） コネクテッドサービス事業室 井田亮太 氏 ◇意見交換会 |

| | |
|--------------------|--|
| | <p>3. 企業間データ連携分科会／生産効率化分科会 活動</p> <p>① 静岡S P メディカルクラスターチーム 平垣製作所、岩倉溶接工業、エクタス、山崎製作所 ・注文取りまとめ企業、各工程を分担している企業間で、IT を活用した受発注の連携、及び生産状況(工程進捗)の見える化に取り組む。 ・(一社)インダストリアル・バリューチーン・イニシアティブが補助事業者となる「中小企業知的財産活動支援事業費補助金」を活用し、受発注連携のシステムを構築した。今後は、協力企業への展開を実施する。</p> <p>《ワークショップ開催日》 H30. 5. 15、H30. 6. 29、H30. 7. 20、H30. 8. 28 H30. 9. 4、H30. 9. 26、H30. 10. 24、H31. 2. 26</p> |
| | <p>② 静岡商工会議所グループ～大日工業(清水市、基板製造加工)～ 現状課題の洗い出し→現状を描く→あるべき姿を描く →簡易実証実験による費用対効果推測 課題解決のため、実証実験による費用対効果を推測するためにワークショップ開催。 H30. 5. 15、H30. 6. 29、H30. 8. 7、H30. 8. 22、H30. 10. 4 H30. 10. 10、H30. 11. 13、H30. 12. 12、H31. 1. 28 現場からのトラブル呼出しで、技術担当が忙しい。 呼び出され理由がわかれれば装備して、現場に向かえる→スピード化／設備稼働率向上。 3月末に呼び出しシステムの実証実験開始。</p> |
| | <p>③ 三島商工会議所グループ～三光ダイカスト工業所(三島市)～ 現状課題の洗い出し→現状を描く→あるべき姿を描く →簡易実証実験による費用対効果推測 課題解決のため、実証実験による費用対効果を推測するためにワークショップ開催。 H30. 9. 19、H30. 10. 16、H30. 11. 19、H30. 12. 14、H31. 1. 16、H31. 2. 19、H31. 3. 19 生産管理システムをうまく、活用できていないので、生産計画などカンと経験で作成している。 設備稼働状況などのデータを自動取得し、生産管理システムに反映させる。 3月末に稼働状況を見える化できる実証実験機器設置。</p> |
| テーマ別 研究活動 事業 | <p>④ 三島商工会議所 IoT 活用セミナー ワークショップ 参加企業 当初4社(印刷2社、表面処理1社、精密板金1社)→のち3社 現状課題の洗い出し→現状を描く→あるべき姿を描く ワークショップ H30. 12. 4、H30. 12. 11、H31. 1. 30、H31. 2. 25、H31. 3. 28 N社《現状の課題》作業の進捗確認がリアルタイムでない 《あるべき姿》作業日報の記入を自動化する</p> <p>T社《現状の課題》在庫紙再利用のための管理 《あるべき姿》用紙をバーコード管理して、データベースへ登録</p> <p>B社《現状の課題》営業が単独で見積作成。見積り作成に時間がかかる。 価格がバラバラ、実製造時間が見積書にフィードバックされていない。 《あるべき姿》受注情報をデータベース化し共有。Web による受注。</p> |
| | <p>⑤ 沼津明協 IoT 実践セミナー ワークショップ 静岡県 IoT 活用研究会の協力により株明電舎と沼津朋友事業協同組合が相互協力し、Q C D S E (品質・コスト・納期・安全・環境)のレベルアップを行い、製品・会社競争力を強め、またQ C D 意識向上と人材育成を図る。 《全体セミナー参加者》 H30. 7. 18 明電舎 12名、沼津明協 21社 21名、事務局 5名 《ワークショップ》 H30. 10. 17、H30. 11. 26、H31. 1. 26、H31. 3. 5 次年度、実証実験に向けた活動を行う予定。</p> |
| | <p>1. 工場見学会 (H30. 10. 19) ・見学先 武州工業㈱ (東京都青梅市末広町 1-2-3) 自動車・医療用パイプ加工 ・参加者 20名 ・《見どころ》 ・20年前から現場の見える化推進 ・多能工化し、材料調達～加工～納期管理まで行う「1個流し生産」 ・在庫・生産状況などを管理する「BIMMS」 ・スマートフォンを活用した設備等の情報収集</p> |

| | |
|------------------|--|
| IoT 活用事例 普及活動 | <p>2. ビジネスマッチング</p> <p>① 静岡県 IoT 応援ツール展示会 in 沼津</p> <p>開催日 : H30. 11. 6 会場 : プラサ ヴェルデ 多目的ホール(沼津市) 出展規模 : 22 社・団体 / 21 小間 来場者 800 名 商談実績 : ・見積依頼 7 件 ・後日訪問約束 31 件 ・名刺交換/商品説明等 328 件 講演会 「まずは身の丈にあった IoT を～中小企業の事例から～」 （株）叢雲堂 代表取締役 池谷隆典 氏</p> |
| | <p>② 静岡県 IoT 応援ツール展示会 in いわた</p> <p>開催日 : H31. 1. 24 会場 : アミューズ豊田 サブアリーナ (磐田市) 出展規模 : 35 社・団体 / 38 小間 来場者 228 名 商談実績 : ・見積依頼 15 件 ・後日訪問約束 60 件 ・名刺交換/商品説明等 701 件 講演会 ◇「新時代ものづくりを IoT で加速する」 （一社）クラウドサービス推進機構 理事長 松島桂樹 氏 ◇「10 万円キットから始めた IoT ～まずは一步を踏み出す重要性～」 （株）東京チタニウム 専務取締役 小澤健太 氏 ◇中小企業施策トークセッション （一社）クラウドサービス推進機構 柏原 剛 氏 関東経済産業局 地域経済部 次世代・情報産業課 荒井大悟 氏</p> |
| | <p>③ IoT 個別相談</p> <p>◇ IoT 支援専門員による対応 3 社 ・製品出荷時のピッキングミス対応について ・IoT 導入における生産性向上について ・IoT を使った生産性向上について</p> <p>◇ IoT 応援ツール展示会における相談 ・工場用システムを導入しているが、一元管理できていない ・中小企業の IoT はどのような事が行われているか ・医療・福祉でも IoT が活用できないのか</p> |
| | <p>④ 平成 30 年度 静岡県 IoT 活用研究会 総会</p> <p>開催日 : H31. 3. 27 会場 : 静岡県産業経済会館 3F 会議 内容 ◇講演 演題「見える化による生産性向上事例」 講師 （株）トライビューイノベーション 代表取締役 村松光徳 氏 ◇講演 演題「高精度位置測定技術を活用した自動運転補助システムの開発」 講師 （株）イージテクノロジーズ 代表取締役 茅野修平 氏</p> |
| 産学連携促進・活用技術向上事業 | <p>1. 静岡県立大学「ふじのくに」みらい共有センター(COC) 「産業の新潮流と人口減少社会研究会」との連携 「産業の新潮流と人口減少社会研究会」と静岡経済同友会との情報交換会</p> <p>開催日 : H. 30. 12. 3 会場 : 静岡市産学交流センター 《参加者》 ○静岡県立大学 教授・講師 8 名 ○静岡経済同友会 12 名 ○静岡県商工振興課 ○静岡県工業技術研究所 ○静岡県 IoT 活用研究会(静岡県産業振興財団)</p> <p>2. 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構への情報収集 静岡大学 情報学部 木谷友哉 准教授 木谷研究室と共同研究した開発内容を静岡県 IoT 活用研究会 総会で講演 内容 「高精度位置測位技術を活用した自動運転補助システムの開発」 （株）イージテクノロジーズ 代表取締役 茅野修平 氏</p> |

(2) ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー事業

A I や I C T などの先端技術の急速な発展に対応するため、I C T 人材育成プロデューサー（1名）を配置し、I C T 人材育成に関する施策の立案・調査や、I C T に関する企業の技術力向上を図った。

- 配置人数 1 名
- 活動日数 64 日

○ 活動内容

①企業等における ICT 人材育成の現状調査

◇「県内企業の ICT 人材に関するアンケート」を実施

内 容:ICT 活用状況及び ICT 人材の充足状況

発送先:県内製造業を中心とした中小企業 500 社→回答:225 社 回答率 45%

実施期間:H30. 11~H30. 12

②企業・学校等への訪問による現状調査

内容:ICT 人材育成に関するヒアリング調査を実施。

調査対象:下記のリストのとおり。

| 企業・組織名 | 実施日 | 実施内容 |
|-----------------------------|-------------|------------------------------|
| インフィック 増田社長 | H30. 11. 1 | 企業ニーズと現状 |
| Geolocation Technology 山本社長 | H30. 11. 6 | 企業ニーズと現状・東部における ICT 人材の現状と課題 |
| グリーミン・ビッグウェル | H30. 11. 16 | 企業ニーズと現状、東部における ICT 人材の現状と課題 |
| しづおかオンライン | H30. 11. 15 | 企業ニーズと現状、中部における ICT 人材の現状と課題 |
| ツカサ | H30. 11. 19 | |
| 伊豆木器 | H30. 11. 19 | |
| 第一樹脂 | H31. 1. 17 | |
| 清水商工会議所 | H31. 3. 7 | 企業ニーズと現状 |
| 農業ロボット研究会 | H31. 3. 4 | |
| 静岡鉄道 経営企画部 | H31. 3. 20 | |
| IT ハセガワ | H30. 12. 7 | |
| 沼津高専 | H31. 1. 17 | |
| 静岡理工科大学 | H31. 1. 18 | |
| 静岡県立大学 | H31. 2. 14 | 来年度施策の方向性について |
| 静岡県立大学 六井准教授 | H31. 3. 11 | |
| 聖光学院 (IT キャンプ) | H31. 3. 22 | |
| ライフサイエンス×AI | H31. 3. 12 | |
| 長野県工業技術総合センター | H31. 3. 14 | 先進事例 |

③ICT 人材育成施策の計画・準備

協議会構成員や、県内外の有識者へのヒアリングを通じて、ICT 人材育成戦略案の作成。

来年度施策案の作成、講師候補者等への掘り起こしと連携準備。

④ICT 人材育成施策に対する提言・助言

来年度施策案への提言・報告書の作成。

⑤ふじのくに ICT 人材育成協議会及び下部組織の研究会の調整

協議会設置、運営のための調整を行い、3回の協議会を実施した。

ア. 第1回協議会 H30. 12. 3 静岡県庁西館4階第一会議室A

【内 容】
・ICT 技術を活かした本県産業の将来の姿について
・施策の方向性について

イ. 第2回協議会 H30. 12. 26 静岡県庁 別館8階第一会議室B

【内 容】
・具体的な施策の協議

ウ. 第3階協議会 H31. 2. 8 静岡県庁西館4階第二会議室

【内 容】
・県に対する戦略最終案の提示
・ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略(概要・本文)について

5 販売戦略構築支援事業

事業費 5,480,000 円

(1)販売戦略サポート委員会

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う委員会を開催した。

| 回数 | 開催日 | 出席企業 | 製品等 | アドバイザー出席数 |
|----|-------------|----------------------|------------------------|-----------|
| 1 | H30. 5. 25 | ハマニ化成㈱ (浜松市) | インテリア雑貨 | 6名 |
| | | ㈱山一木研 (浜松市) | ピアノ椅子 | |
| 2 | H30. 6. 27 | ㈱ライズ・アップ (沼津市) | 手動式災害対応自動販売機 | 5名 |
| | | 富士パック㈱ (富士宮市) | 富士山型紙バッグ等 | |
| 3 | H30. 7. 30 | ㈱もちひこ (静岡市) | テントの端材を使用したバッグ等 | 6名 |
| | | アルエフネットワーク㈱ (浜松市) | 無線機用測定器 | |
| 4 | H30. 9. 27 | ㈱ユーシ・イレブン (富士宮市) | 貼り箱 | 5名 |
| | | ㈱トライ・カンパニー (沼津市) | 保冷まくら | |
| 5 | H30. 10. 29 | ㈱トマト (静岡市) | 介護用入浴ストレッチャー、介護トイレ用リフト | 5名 |
| | | ㈱岩清 (焼津市) | 鰯を利用した食品 | |
| 6 | H30. 11. 26 | ㈱アステック (富士市) | 水道水循環型飲料水タンク | 5名 |
| | | ㈱ニチワ (沼津市) | 空気緩衝材 | |
| 7 | H30. 12. 17 | ㈱伍葉精機 (湖西市) | 中小企業向け生産管理システム | 6名 |
| | | ㈱ロジフル (浜松市) | スイッチング電源 | |
| 8 | H31. 1. 15 | ㈲太悦鉄工 (浜松市) | 固定器具(ペグ) | 4名 |
| 9 | H31. 2. 25 | ㈱三光ダイカスト工業所 (三島市) | アルミ製アクセサリー | 5名 |
| 10 | H31. 3. 15 | ㈱MATSUO (静岡市) | 安全ピン | 5名 |
| 11 | H31. 3. 27 | 橋本エンジニアリング㈱ (浜松市) | 超軽量車椅子 | 5名 |

(2) Webサイトの活用によるマッチング支援

公益財団法人大阪産業振興機構が開設する「オープンイノベーション・ソリューション・サイト」に公開された県外大手企業の技術課題と、県内中小企業が保有する技術シーズとのマッチングを支援した。

- ① サンスター㈱技術ニーズ説明会（開催日：H30.11.15、会場：静岡県産業経済会館）

| | 説明会出席 | 提案企業 | 個別面談企業 | 提案採択企業 |
|--|-------|------|--------|--------|
|--|-------|------|--------|--------|

| | | | | |
|-----------|------|-----|-----|-----|
| 該当企業数 | 21 社 | 9 社 | 4 社 | 1 社 |
| うち県外企業数 | 3 社 | 2 社 | 1 社 | 0 社 |
| うち県内大手企業数 | 2 社 | 1 社 | 1 社 | 0 社 |
| うち県内中小企業数 | 16 社 | 6 社 | 2 社 | 1 社 |

②㈱きんでん個別商談会（開催日：H30. 9. 26、会場：㈱きんでん大阪本社）

ア 出席企業 ㈱TODATEC（沼津市）

イ 商談結果 試作依頼1件

6 事業承継支援事業

事業費 15,461,878 円

（1）事業承継ネットワーク運営事業

中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを構築し、事業承継診断を促進したほか、各構成員との連携強化のための全体会議、構成員職員の事業承継支援スキル向上のための研修会を開催した。

① ネットワーク構成員

| 種別 | 県市町 | 金融機関 | 商工会議所・商工会 | 支援機関 | 士業団体 | その他 | 合計 |
|-----|-------|-------|-----------|------|------|------|-------|
| 機関数 | 36 機関 | 19 機関 | 17 機関 | 9 機関 | 6 機関 | 2 機関 | 89 機関 |

② 事業承継診断の促進

| | |
|---------|---------|
| 診断実施機関数 | 45 機関 |
| 診 断 件 数 | 6,231 件 |

③ 全体会議の開催

| 開催日 | 内容 | 会場 | 参加者 |
|------------|--|-------------------|----------------|
| H30. 8. 23 | <ul style="list-style-type: none"> 静岡県の事業承継支援体制について 静岡県 経営支援課 課長 松島通悦 氏 静岡県事業承継支援戦略とプッシュ型事業承継高度化支援事業について 承継コーディネーター 山崎眞嗣 静岡県事業承継ネットワーク事業の取組状況について 静岡県事業承継ネットワーク事務局 事務局長 小長谷宏明 後継者人材バンクの活用について 静岡県事業引継ぎ支援センター 総括責任者 清水至亮 氏 事業承継税制の概要について 静岡県 経営支援課 団体支援班 主任 柳澤伸之 氏 中小企業向け県制度融資について 静岡県 商工金融課 制度資金班 班長 佐野 哲 氏 | クーポール会館 5 F 駿河 | 62 機関 97 名 |
| H31. 2. 25 | <ul style="list-style-type: none"> 静岡県の事業承継支援 静岡県 経営支援課 課長 松島通悦 氏 静岡県事業承継ネットワーク事業の取組状況及び来期の計画 静岡県事業承継ネットワーク事務局長 小長谷宏明 静岡県プッシュ型事業承継支援高度化事業の今期事業報告及び来期事業計画について 事業承継コーディネーター 山崎眞嗣 事業引継ぎ支援センターにおける個社支援状況について 静岡県事業引継ぎ支援センター 総括責任者 清水至亮 氏 トークセッション モラビト&オースチンリード三島店 代表 小林 麻紀恵 氏 静岡県事業引継ぎ支援センター 総括責任者 清水至亮 氏 商工団体との連携と事業承継相談案件事例について 東部地区ブロックコーディネーター 浅田 博彦 中部地区ブロックコーディネーター 杉山 肇 西部地区ブロックコーディネーター 鈴木 秀俊 | アゴラ静岡 7 F 会議室 | 84 機関 125 名 |

④ 事業承継支援スキル向上研修会の開催

| 開催日 | 内容 | 会場 | 参加者 |
|--|---|---------------------------------|--------------|
| H30. 6. 13 | 「事業承継診断に必要な知識と話法」 静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水至亮 氏 | 沼津商工会議所会館 4F 大会議室 | 28 機関 47名 |
| H30. 6. 14 | | 静岡県男女共同参画センターあざれあ 5F 501 会議室 | 31 機関 47名 |
| H30. 6. 15 | | アクトシティ浜松 研修交流センター 62 研修交流室 | 25 機関 34名 |
| ■参加者評価 東部：4.5点、中部：4.5点、西部：4.4点（5点満点・平均点） | | | |
| H31. 3. 6 | 「掘り起しのための事業承継ヒアリング手法」 (独)中小企業基盤整備機構 関東本部 事業承継コーディネーター 富永治 氏 | ホテルセンチュリー静岡 クリスタルルーム | 16 機関 22名 |
| ■参加者評価：4.5点（5点満点・平均点） | | | |

（2） プッシュ型事業承継支援高度化事業

中小企業庁委託事業「平成29年度補正予算プッシュ型事業承継支援高度化事業」の地域事務局を静岡商工会議所と共同で受託し、親族内承継及び従業員等承継に関する支援ニーズに対して、承継コーディネーター、ブロックコーディネーター、専門家等が連携して支援した。

① 相談会の開催

| | |
|-------|--------------|
| 開催日数 | 332.5日 |
| 会 場 | 各商工会議所・商工会 |
| 相 談 員 | ブロックコーディネーター |

② 相談・成約件数

| 項目 | 件数 | 内容（内訳） | | |
|----------------|----------------|---|---|---|
| 相談件数 (相談先数) | 458件 (327件) | 【種別】 ・親族内承継：177件 ・従業員承継：22件 ・その他：65件 | 【地区別】 ・東部、伊豆：117件 ・中部：123件 ・西部：86件 ・県外：1件 | 【業種別】 ・建設関連：48件 ・製造業：79件 ・小売業：54件 ・卸売業：19件 ・サービス業：114件 ・その他：13件 |
| 成約件数 | 21件 | ・事業承継計画策定：2件 ・代表者変更：14件 ・株式移転：2件 ・その他（補助金等）：3件 | | |
| 専門家派遣 | 15件 | | | |

③ 地域おこし協力隊との連携に関するフォーラムの開催

後継者不在の小規模事業者と地域で活動する「地域おこし協力隊員」のマッチング促進を図るモデル事業のキックオフフォーラムを開催した。

| | |
|-------|---|
| 名 称 | しづおか“咲くセッション” |
| 開 催 日 | H30. 6. 29 |
| 会 場 | ホテルセンチュリー静岡 5階センチュリールーム |
| 内 容 | <p>○連携内容の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県における「地域おこし協力隊」と「事業承継ネットワーク」との連携について 静岡県 経営支援課長 松島通悦 氏 ・事業承継ネットワークの活動と後継者人材バンク事業について 承継コーディネーター 山崎眞嗣 <p>○事例発表（地域おこし協力隊の起業体験等について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市地域おこし協力隊員 富田和政氏 ・藤枝市地域おこし協力隊員 村上裕仁氏 ・元南伊豆町地域おこし協力隊員 松原政美氏 |

| | |
|-----|--|
| | <p>○トークセッション（後継者人材バンクを活用した企業事例について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデレーター 静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水至亮 氏 ・パネリスト (有)ムクゲ 代表取締役 渡辺大介氏 杉山嘉一税理士事務所 所長 杉山嘉一氏 三島商工会議所 まちづくり課 石渡智英氏 |
| 参加者 | 258名 |

7 地域中核企業創出・支援事業

事業費 8,954,203円

（1）静岡県中部地域を中心とした医療機器製造クラスターの形成支援

静岡県中部地域での医療機器ものづくり団体「SPメディカルクラスター」を協同組合（代表理事：株平垣製作所 代表取締役 平垣徳之）として体制強化し、地域産業の活性化につなげるために、運営基盤の強化・医療機器参入への支援により、参入企業の拡大を図った。同時に一貫生産体制・コストダウン・販路開拓に取組み、「鋼製小物」を中心とした診断・手術用の医療機器の受注を拡大させ、クラスター形成の礎を築いた。

（2）経営革新等認定支援機関のサポート事業

「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関として産業財團は認定され、経営分析や事業計画策定等の相談に対応している。

| 内 容 | 件 数 |
|-------------------------|-----|
| ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 | 8件 |
| 経営力向上計画 | 1件 |
| 地域経済牽引事業計画 | 2件 |

（3）地域経済牽引事業

地域経済牽引事業計画の策定を促進し、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を実施する事業者を支援することを目的とし、県内中小企業者に対し、専門家（中小企業診断士、税理士等）の派遣することにより、地域経済牽引事業計画の作成等の支援を行った。

- ・専門家1名×12回（派遣先数6社・1/3派遣先負担）

<派遣先>

| NO | 企業名 | 所在地 |
|----|------------|--------|
| 1 | 株藤本組 | 掛川市 |
| 2 | 仲山貴金属鍍金(株) | 浜松市北区 |
| 3 | 山梨罐詰(株) | 静岡市清水区 |
| 4 | (株)いちまる | 焼津市 |
| 5 | (有)岩倉溶接工業所 | 島田市 |
| 6 | 伊豆川飼料(株) | 静岡市清水区 |

8 高度化資金貸付診断等事業

事業費 18,615,182円

高度化事業は、中小企業者が共同して経営基盤の強化を図るために工場団地や共同店舗等を建設する事業に対して、県が長期かつ低利な資金を貸し付けるとともに、貸付前、貸付後の経営診断・助言等の実施により、支援する制度である。

静岡県からの委託により、当該経営診断・助言及び財務分析を実施した。

○ 高度化資金貸付実績

- ・H30年度高度化資金貸付条件（通常）

貸付期間：20年間（3年間据置）

貸付利率：0.50%

貸付割合：貸付対象経費の80%以内

貸付先：事業協同組合、街づくり会社（三セク）等

- ・H30年度高度化資金貸付額（県商工金融課所管）： 884千円（H31.1.31現在）

・H30 年度末高度化資金貸付残高（県商工金融課所管）： 8,616,210 千円（H31. 1.31 現在）

(1) 高度化資金貸付等に係る診断実績

| 診断区分 | 内容 | 計画件数 | 実施件数 |
|---------------|---------------------------------------|------|------|
| 新規貸付 診断 | ・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断 | 6 | 6 |
| 条件変更 診断 | ・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断 | 5 | 6 |
| フォローアップ 診断 | ・事後助言（フォローアップ） | 9 | 11 |
| 対象診断 | ・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断 | 12 | 8 |
| 全診断 | | 32 | 31 |

(2) 財務分析の実績

| 区分 | 計画件数 | 実施件数 | 内容 |
|------|------|------|-----------------------|
| 財務分析 | 50 | 63 | ・高度化団地等へ進出している企業の財務分析 |

(3) 高度化事業調整会議

受託業務を円滑かつ適正に遂行するため、関係機関（県経営支援課、商工金融課、静岡県中小企業団体中央会）と診断案件に係る情報交換を行った。（開催回数：3回）

9 経営革新計画支援事業

事業費 29,146,584 円

県から受託して、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査等を行つた。さらに県内中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センター等と連携して普及・啓発や相談助言等を行なうとともに経営革新計画事例集を作成した。

| 項目 | 実施内容 | 件数等 |
|----------------------|-----------|---|
| 出張、窓口等個別相談の状況 | 相談件数 | 224 件（367 件） |
| 専門家派遣の状況 | 派遣件数 | 22 社 106 件（23 社 115 件） |
| 経営革新計画申請の状況 | 申請受付件数 | 76 件（152 件） |
| 経営革新計画承認の状況 | 承認件数 | 新規 67 件、変更 1 件 計 68 件（159 件） |
| 地域中小企業支援センター等巡回指導の状況 | 巡回回数 | 83 回（79 回） |
| 経営革新計画事例集の作成 | 作成部数 | 3,500 部（7,000 部） |
| フォローアップ調査の報告状況（財団分） | 報告件数 | 119 件（24 件） |
| フォローアップ調査の報告状況（全体） | 報告件数 | 361 件（135 件） |
| 実施状況の報告状況（財団分） | 報告件数 | 183 件（169 件） |
| 実施状況の報告状況（全体） | 報告件数 | 815 件（665 件） |
| 補助金に係る申請書類の受付状況 | 作成支援、受付件数 | 新商品 67 件、販路 94 件、生産性 14 件 (新商品 94 件、135 件) |

(注) () 内はH29 年度の件数等

○経営革新計画事例集掲載企業(抜粋)

かど万米店(飲食料品小売業)

【経営革新計画のテーマ】

米糀の働きを活かした砂糖不使用の「藤枝スイーツ甘酒シリーズ」の開発・販売

昔ながらの製法にこだわった手作り・てき立ての米糀を使用した新商品として、みかん・いちご・ブルーベリー等の静岡・藤枝産の果物を使用した「藤枝スイーツ甘酒」の開発に取り組んだ。

一般的には高温で殺菌処理をした甘酒関連商品が流通しているが、本計画では、米糀の働きを活かすべく高熱処理を行わず、添加物も入れない商品づくりを目指した。蒸した米に麹菌をまぶした後、糀の働きが活発となる約28℃前後に保たれた糀室で繁殖させることで、糖化力や分解力に優れた米糀を生成。その米糀を使用した当店の甘酒は、糖度25度以上となり、砂糖を入れなくても十分な甘みを感じられる。地元産の旬の果実をシャーベット状にし、甘酒とあわせて「甘酒スムージー」として商品化を行った。



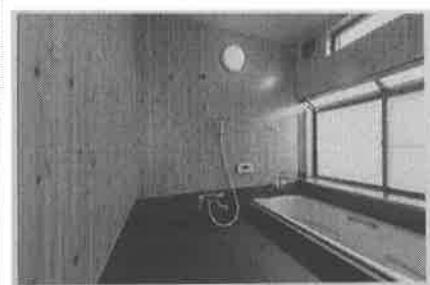
・新商品「甘酒スムージー」

不二高株式会社(建築材料卸売)

【経営革新計画のテーマ】

静岡県産ひのき間伐材の色味や風合い等を忠実に再現した化粧板の開発・販売

昨今、木目調等の落ち着いた雰囲気の建造物が人気となっているが、木造住宅等に使用される無垢材は納期・コスト・耐久性において難点も多く、用途が限定されていた。そこで、実際の静岡県産ひのき間伐材の模様をデータ化して化粧板に利用することで、耐水性・耐光性・耐久性や抗菌・不燃、メンテナンスの容易さと木の温かみを両立させた。本製品は、従来無垢材では使用できなかった壁面(浴室、化粧室等)へも施工が可能であり、無垢材との併用に適しているため、建物や部屋の統一した空間創出を実現することができる。県内の幼稚園や老人ホームへも導入され、好評の声をいただいた。本取組を継続して行っていくことで静岡県産材のさらなる利用拡大につなげていく。



・化粧板を使用した施行例

10 設備貸与事業

事業費 88,943,590 円

小規模企業者等(原則として従業員20人以下)及び創業者を対象として、設備を割賦販売及びリースすることにより、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成26年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

| | 平成29年度末残 | | 平成30年度末残 | |
|-----|----------|----------|----------|----------|
| | 件数 | 件数 | 件数 | 金額 |
| 割賦 | 4件 | 19,775千円 | 4件 | 9,855千円 |
| リース | 9件 | 34,040千円 | 4件 | 6,603千円 |
| 計 | 13件 | 53,815千円 | 8件 | 16,458千円 |

(2) 延納・滞納債権(未収額)

| | 平成29年度末残 | | 平成30年度末残 | |
|--|----------|----|----------|----|
| | 件数 | 件数 | 件数 | 金額 |
| | | | | |

| | | | | |
|-----|----|----------|----|----------|
| 割賦 | 3件 | 20,578千円 | 3件 | 19,745千円 |
| リース | 1件 | 7,306千円 | 1件 | 5,267千円 |
| 計 | 4件 | 27,884千円 | 4件 | 25,012千円 |

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | 平成29年度末 不良債権残 | 平成30年度回収等 | | | | 平成30年度末 不良債権残 |
|----|------------------|-----------|------|------|---------|------------------|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 割賦 | 10件 | 0件 | 0件 | (1件) | 4件 |
| | リース | 8件 | 0件 | 0件 | (1件) | 1件 |
| | 計 | 18件 | 0件 | 0件 | (2件) | 5件 |
| 金額 | 割賦 | 83,292千円 | 0千円 | 0千円 | 2,400千円 | 10,375千円 |
| | リース | 44,305千円 | 0千円 | 0千円 | 4,800千円 | 1,372千円 |
| | 計 | 127,597千円 | 0千円 | 0千円 | 7,200千円 | 11,747千円 |
| | | | | | | 108,650千円 |

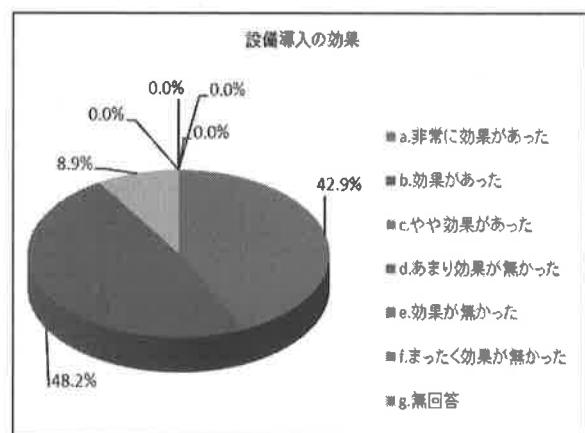
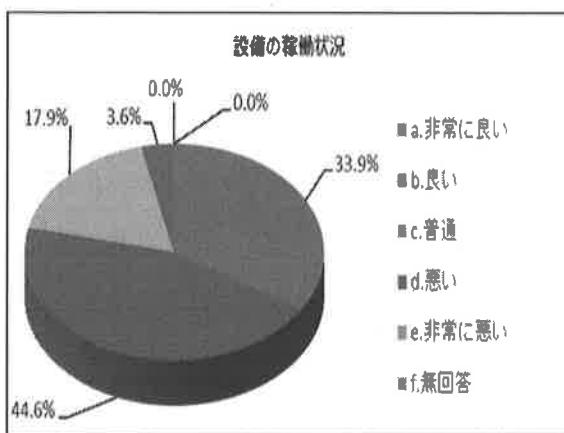
(4) 割賦未収金債権（契約解除案件）

| 項目 | 平成29年度末 不良債権残 | 平成30年度回収等 | | | | 平成30年度末 不良債権残 |
|----|------------------|-----------|------|------|-------|------------------|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 割賦 | 3件 | 0件 | 0件 | (3件) | 0件 |
| 金額 | 割賦 | 944千円 | 0千円 | 0千円 | 240千円 | 0千円 |
| | | | | | | 704千円 |

(5) 設備貸与制度・設備資金貸付制度の事後調査

平成19年度～平成26年度に設備貸与制度・設備資金貸付制度を利用した企業のうち、70企業について、書面による導入設備利用状況調査を実施した。

調査の結果（回答率 80.0%）、設備の稼働状況が「非常に良い」「良い」と回答した企業は 78.5%と、前年度調査と同水準の結果であった。また、導入効果として「非常に効果があった」「効果があった」と回答した企業は 91.1%で、事業目的の効果が得られている状況が見受けられた。



設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等の経営基盤の強化を促進することを目的として実施していたが、平成15年度より新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | 平成 29 年度末 不良債権残 | 平成 30 年度回収等 | | | | 平成 30 年度末 不良債権残 |
|----|--------------------|-------------|------|--------|------|--------------------|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 1 件 | 0 件 | 0 件 | (1 件) | 0 件 | 1 件 |
| 金額 | 4,369 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 600 千円 | 0 千円 | 3,769 千円 |

12 設備資金貸付事業

事業費 5,545,466 円

小規模企業者等(原則として従業員 20 人以下)及び創業者を対象として、設備導入に係る資金の貸付により、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権（償還金）

| | 平成 29 年度末残 | | 平成 30 年度末残 | |
|------|------------|------------|------------|------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 資金貸付 | 108 件 | 425,125 千円 | 78 件 | 242,734 千円 |

(2) 延納・滞納債権（未収額）

| | 平成 29 年度末残 | | 平成 30 年度末残 | |
|------|------------|-----------|------------|-----------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 資金貸付 | 2 件 | 28,533 千円 | 1 件 | 20,829 千円 |

(3) 損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | 平成 29 年度末 不良債権残 | 平成 30 年度回収等 | | | | 平成 30 年度末 不良債権残 |
|----|--------------------|-------------|------|-------|----------|--------------------|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 損失補償 | |
| 件数 | 1 件 | 0 件 | 0 件 | (1 件) | 1 件 | 0 件 |
| 金額 | 3,175 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 10 千円 | 3,165 千円 | 0 千円 |

公3 科学技術研究開発支援

事業費 95,672 千円 (275,756 千円)

県内産業における科学技術の振興を図るため、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチング、産学官の連携強化等に取り組んだ。

1 産学官技術交流促進事業

事業費 21,458,675 円

技術コーディネーター(3名)が、大学、静岡県工業技術研究所、金融機関等と連携し、企業の新技術・新製品開発に係る技術ニーズと大学等における研究シーズや大手企業の技術シーズのマッチングを図った。また、企業からの技術相談にも広く対応した。

(1) 技術相談、マッチング支援等

| 項目 | 実績 |
|--------------------|-------|
| 新成長産業分野の助成採択に対する支援 | 33 件 |
| 中小企業の技術課題等に対する相談対応 | 289 件 |

| | | |
|------------------------------|--|---|
| コーディネーターの スキルアップ事業 | <p>コーディネーター 1名 平成30年度 第1回 技術開発支援機関研修 ・主 催 中部イノベネット ((公財)中部科学技術センター) ・開催日 H30. 9.12 ・会 場 ウインクあいち 名古屋駅前イノベーションハブ ・内 容 愛知県、岐阜県、静岡県等の中部地域の技術開発支援機関が広域的に連携し、中小企業の技術開発を支援している中部イノベネットには大学、研究機関からの登録シーズは800件、データベースへの研究者登録者数は700名を超える。 技術シーズを多くの中小企業等に実効的に活用していただく上で支援機関コーディネーターが取り組むべき方策について研修を受講。</p> | |
| 大手企業知的財産 マッチング | <p>○知的財産マッチング in 浜松 H30. 7.12 アクトシティ浜松 コングレスセンター（浜松市） 参加者：25名 ・事業概要の説明 ・技術シーズ説明 富士通㈱：「印刷画像へのコード埋込技術」他 富士通セミコンダクター㈱「ICタグによる迷子検知システム」： 他 個別相談：3件と4件</p> |  |
| | <p>○知的財産マッチング（個別面談） H30.11.6 プラサヴェルデ（沼津市） ・個別面談会 ・シーズ提供：㈱イトーキ「ハンガーを利用した非接触給電技術」 ・シーズ提供：フジ日本製糖㈱「フラクトファイバー」 個別相談：6件と11件</p> |  |
| | <p>○知的財産マッチング（個別面談） H.31.2.5 静岡県産業経済会館（静岡市） ・個別面談 ・シーズ提供：焼津水産化学工業㈱「テアフラビン」「N-アセチルグルコサミン」 個別相談：5件</p> |  |
| 大学連携による 知的活用アイデア コンテスト | <p>H30.5.29 キックオフ会（静岡県立大学 静岡大学 常葉大学） ・事業概要説明 ・知財技術解説 富士通㈱：三原雄一氏 富士通セミコンダクター㈱：安達省吾氏 静岡県工業技術研究所：高木誠氏・前田研司氏</p> <p>H30.9.10 プラッシュアップ会（静岡県立大学 静岡大学 常葉大学） @静清信用金庫 本部</p> |  |

| | | | |
|--|---|---|---|
| | <p>各大学からのプレゼンと講評 静清信用金庫・発明協会・産業財団</p> <p>H30. 10. 30 プラッシュアップ会（静岡文化芸術大学） 浜松信用金庫・産業財団</p> <p>H30. 11. 16 知財ビジネスアイデア静岡大会 @静清信用金庫 研修センター 静岡県からは静岡大学1チーム、静岡県立大学2チーム、静岡文化芸術大学3チーム、常葉大学1チーム 各大学によるビジネスアイデアのプレゼンテーション <最優秀賞>静岡文化芸術大学「研究室707」 <優秀賞> 静岡大学「KK ラボ」 静岡県立大学「いとこん」 ※上位2チームが全国大会出場</p> <p>H30. 12. 15 知財活用スチュードントアワード @昭和女子大学（東京都） 参加：5県 11大学 12チーム (本県から静岡文化芸術大学、静岡大学各1チーム参加) <優秀賞>静岡文化芸術大学「研究室707」</p> |  |  |
|--|---|---|---|

（2）外国出願支援事業

中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、基礎となる出願（特許、実用新案、意匠、商標）と同内容の外国出願にかかる経費の一部を補助した。

| | 企業名 | 種別 | 交付確定額 |
|----|----------|----|---------|
| 1 | 株)ジェネシス | 特許 | 481千円 |
| 2 | 東亜工業株 | 特許 | 469千円 |
| 3 | 株)デイトナ① | 商標 | 316千円 |
| 4 | 株)デイトナ② | 商標 | 600千円 |
| 5 | 株)デイトナ③ | 意匠 | 36千円 |
| 6 | 株)デイトナ④ | 意匠 | 36千円 |
| 7 | 株)デイトナ⑤ | 意匠 | 36千円 |
| 8 | やまと興業株 | 特許 | 1,500千円 |
| 9 | 株)コヨー化成 | 商標 | 600千円 |
| 10 | 株タウンズ | 特許 | 477千円 |
| 11 | マスダテクノ株① | 特許 | 255千円 |
| 12 | マスダテクノ株② | 意匠 | 103千円 |
| | | 計 | 4,909千円 |

2 地域ビジネス応援事業

事業費 6,411,483円

地域発ビジネスの活性化を応援する目的で、県内中小企業者、特定非営利活動法人、創業者が行う、新たな事業の

展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓等に対して、また、産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援として助成金を交付した。

<助成実績>

(1) 助成事業

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 確定額 |
|---------------------------|------|-----------------------------------|----------|
| (有)アサギリ | 富士宮市 | ペレット化した牛ふん混合堆肥の販路開拓 | 800 千円 |
| (有)市の瀬牧場 | 富士宮市 | 酪農教育ファーム設営事業 | 800 千円 |
| ㈱はの字食品 | 焼津市 | 駿河湾のハダカイワシ・焼津のサバ・マグロの黒はんぺん | 800 千円 |
| ホーミーコスマティクス(株) | 富士宮市 | 日本酒配合“縁結び化粧水”の開発及び販路開拓 | 800 千円 |
| (特非)みしまびと | 三島市 | 「みしま未来研究所」運営による地域の担い手「みしまスター」輩出事業 | 800 千円 |
| Mon chou chou (モンシュシュ) | 静岡市 | 豊かな時間を提案するグランピックサービスの提供について | 800 千円 |
| ㈱ヤマト増田商店 | 焼津市 | 観光客誘致の為の工場施設の改修事業 | 800 千円 |
| | | 計 | 5,600 千円 |

(2) 産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（販売戦略構築支援型）

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 確定額 |
|----------|------|----------------------------|--------|
| 富士パック(株) | 富士宮市 | 「折る折るパンフレット」と「富士山バッグ」の販路開拓 | 145 千円 |

(3) 産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（創業者成長支援型）

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 確定額 |
|--------------|-----|---------------------------|--------|
| 日本パワー・テクノ(株) | 沼津市 | 農業用水素水生成装置「H2-Agri」の2号機開発 | 300 千円 |
| オフィスサエコ | 掛川市 | 富士の酒HP作成等による販促ツールの整備 | 300 千円 |
| | | 計 | 600 千円 |

3 戰略的基盤技術高度化支援事業

事業費 63,216,778 円

事業管理機関として、技術開発を目指すものづくり中小企業が、当該支援策等を通じて技術の高度化を果たし、新たな需要を切り開くため、研究開発の運営管理等の支援をした。

①株式会社ハイタック（沼津市）

テー マ：「医療器具の国産化に貢献する極小径超深孔加工技術及び加工内面の品質保証技術の開発」
(2年目/3年間)

<これまでの成果>

穴径1mm φ × 加工長400mmの加工を可能とする装置開発と加工技術が開発でき、順調な技術開発を進めた。また、これまで深孔の加工内面の面精度は切断でしか調べることが出来なかつたが、レーザーを用いた光計測技術を新たに開発し、精度の異なる試験片を使った実験にAIを適用することで、高い確率で正確に精度を分類できることが判明した。また、研究開発推進委員会の開催を通じて、当該医療機器分野の情報共有や、光測定技術の事業に向けたサポート体制を築くことができた。

②メガロ化工株式会社（焼津市）

テー マ：「次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立」
(1年目/3年間)

<これまでの成果>

初年度目にあたり、事業採択に向けた申請支援を行い9月より順調に事業の開始をすることができた。研究開発で必要となる大型精密加工装置の導入にかかる機能選定や導入スケジュールの調整を進め、概ね予定通りの時期に設置が出来た。また、加工時のキー技術となるセンサーレスによる加工機制御の基礎技術を大学と共同で開発し、導入した装置への実装の準備ができた。関係者が一堂に会する研究開発推進委員会を2回開催し、研究開発の方向性と技術動向などについて情報共有を図った。

公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト

事業費 113,416千円（90,698千円）

県で策定したフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、同プロジェクトを推進する中核機関として、地域資源を活用した高付加価値型食品等の開発及び県内に集積する食品・医薬品・化成品産業を母体とした次世代型の食品・化成品関連産業の創出を図った。

1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

事業費 96,948,575円

フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップの開催、各種展示会等への出展及び事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングを推進することにより、産学官連携による機能性食品の開発等を促進し、食品・化成品関連産業の振興と集積を図った。

（1）フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップ等の開催

サイエンスアドバイザーや販路開拓・拡大アドバイザーの知見により付加価値の高い施策を展開した。

① フーズ・サイエンスセミナー

参画市(静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市)と連携して企業の関心が高いテーマを中心にセミナー等を実施した。

| 開催日 | 開催地 | 参加人数 | 内容 |
|------------|------|------|-----------------------------|
| H30. 6. 26 | 静岡市 | 99人 | 機能性表示食品の届出制度改正のねらいと知財戦略セミナー |
| H30. 9. 19 | 焼津市 | 61人 | 通販セミナー、交流会、商談会・相談会 |
| H30. 11. 5 | 牧之原市 | 31人 | 通販セミナー、交流会、商談会・相談会 |
| H31. 1. 25 | 島田市 | 42人 | 食品取扱バイヤーとの個別商談会 |
| H31. 2. 19 | 藤枝市 | 94人 | 和紅茶の魅力をビジネスにつなげるセミナー |

| | | |
|---|------|--|
| 計 | 327人 | |
|---|------|--|

② ワークショップ

食品関連企業自らの強みを活かし市場に合った課題解決を支援するため、専門家等による少人数講義(ワークショップ)等を開催した。

| 開催日 | テーマ | 場所 | 講師等 |
|--|---|----------|--------------|
| H30. 9. 16 | 展示会勉強会(焼津市単独) | 東京ビッグサイト | 海野アドバイザー |
| 9月4日焼津市主催の展示勉強会の講師役として海野アドバイザーが参加 東京インターナショナルギフトショー、グルメ&ダイニングスタイルショー 参加者:28名 | | | |
| H30. 10. 1 | カゴメ商品開発相談会 | 県水産技術研究所 | カゴメ㈱ |
| | フーズ・サイエンスセンターと野菜消費量の拡大を目指すカゴメ㈱が連携して、地域の水産加工企業を対象に「トマト加工品を使った新たな水産加工製品」の開発相談会を開催した。 参加企業8社10人(関係者を含めた総参加者30名) | | |
| H30. 10. 22 | 日本発の民間認証JFS説明会 | あざれあ | (一財)食品産業センター |
| | 農林水産省の支援のもと作られた日本発の食品安全マネジメント規格「JFS」について安全管理レベルをさらに向上したいという食品事業者向けに「JFSの取組事例と効果」等の講義を実施した。 参加者数115人 | | |
| H30. 10. 23 | HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための研修会 | あざれあ | (一財)食品産業センター |
| | 中小規模食品製造業者の品質保証責任者等を対象とする標記研修会を開催、「食品衛生規制見直しの概要」「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の解説」等の講義を実施した。 参加者数125人 | | |

<サイエンス、販路開拓・拡大アドバイザー関連>

| 分野 | 内容 |
|---------------------|---------------------------------------|
| 機能性素材成分分析及び活用 | GABA、DHA/EPA 計80検体 → DB化 |
| 産官学民金、各種クラスターとの連携促進 | AOI 機構、静岡市海洋産業クラスター協議会支援施策の適切な審査への協力 |
| 成果品等販売支援 | 延べ123件 33社85品目 水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか |

(2) 各種展示会等への出展

プロジェクトの情報発信と食品・化成品関連企業の販路開拓のため、県内外の展示会への出展支援を実施した。

| | 展示会等名 | 開催期日 | 会場 | 出展支援企業 |
|---|---------------------------|-----------------------|-----------------------------|--|
| 1 | SEOUL FOOD2018 | H30. 5. 1 ～ 5. 4 | KINTEX HALL (韓国ソウル市) | ①西光エンジニアリング㈱、②㈱沖友、 ③万城食品㈱ |
| 2 | 静岡メイカン 総合食品展示商談会 | H30. 7. 5 ～ 7. 6 | アクトシティ浜松 (浜松市) | フーズ事業・成果品等のPR |
| 3 | ウェルネス フードジャパン | H30. 7. 25 ～ 7. 27 | 東京ビッグサイト (東京都江東区) | フーズ事業・成果品等のPR |
| 4 | 北洋銀行ものづくり テクノフェア | H30. 7. 26 | アクセスサンポロ (札幌市) | ①西光エンジニアリング㈱、②㈱沖友、 ③㈱寺田製作所、④東洋レザン㈱、 ⑤ディトナ㈱、⑥ヘルツ電子㈱ |
| 5 | インフォメーション バザール inTokyo | H30. 9. 6 ～ 9. 7 | 池袋サンシャイン シティ (東京都豊島区) | ①あらしお㈱、②ムッシュ・モイズミ、 ③㈱カミナリヤ、④三洋食品㈱、 ⑤山上水産㈱、⑥㈱柳屋本店 ⑦シーラック㈱、⑧㈱はの字食品、 ⑨焼津冷藏㈱、⑩有浅原工業、 |

| | | | | |
|----|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|---|
| | | | | ⑪株西野商店、⑫株ヤギショ一、 ⑬葉っ皮イ向島園、⑭株SHOUJI、 ⑮有大蔵園、⑯株松田商店、 ⑰社会福祉法人福泉会 KuRuMix、 ⑱カネイ一言製茶 |
| 6 | アンチエイジング ジャパン 2018 | H30. 9. 10 ～ 9. 12 | 東京ビッグサイト (東京都江東区) | ① 株シーク、②日研フード株、 ③焼津水産化学工業株、 ④フェイスラボ株、⑤磐田化学工業株、 ⑥株九州コーベン |
| 7 | 食品開発展 2018 | H30. 10. 3 ～10. 5 | 東京ビッグサイト (東京都江東区) | ① 株西野商店、②有キムラ加工、 ③焼津水産化学工業株 |
| 8 | 高校生実学フェスタ | H30. 11. 8 | プラサヴェルデ (沼津市) | フーズ事業・成果品等のPR |
| 9 | 上海展示会 | H31. 1. 14 ～ 1. 19 | 上海大丸新世界百貨 (中国上海市) | ①株資生堂、②株ポーラ、③株バスク リン、④サンスター株、⑤株コーヨー 化成、⑥エルソルプロダクツ株 |
| 10 | 第9回化粧品開発展 | H31. 1. 30 ～ 2. 1 | 幕張メッセ (千葉市) | ①有落合ハーブ園、②増田紙工株、 ③エフシー中央薬理研究所株、 ④株シーク、⑤株ビートセンシング、 ⑥フェイスラボ株 |
| 11 | 静岡メイカン 総合食品展示商談会 | H31. 2. 20 | プラサ ヴェルデ (沼津市) | フーズ事業・成果品等のPR |
| 12 | ふじのくに総合食品 開発展 | H31. 2. 8 | グランシップ (静岡市) | ①おいしい産業株、②有ゑび寿亭、 ③ちきり清水商店株、④有浅原工業、 ⑤有まるととづか <広域連携部会> (株)信光, 大塚園, 西光エンジニアリング (株), (有)余湖農園 <アヲミカン加工品開発部会> 牧野農園, 桃林堂, 扇松堂, 山梨罐詰株、 食彩岩生 <プロジェクト紹介ブース> <減塩部会> 焼津水産化学工業株 <GABA 部会> (株)Happy Quality, 日本オーガニック 株, 静岡県経済農業協同組合連合会・静 岡ジェイエイフーズ株 |
| 13 | スーパーマーケット トレードショー | H31. 2. 13 ～ 2. 15 | 幕張メッセ (千葉市) | ①朝霧乳業株、②山梨罐詰株、 ③株片山、④あらしお株、⑤株カネヨ ⑥石田缶詰株、⑦株岩清、 ⑧株焼津冷蔵、⑨カネ松製茶株、 ⑩西光エンジニアリング、⑪株荒畑園、 ⑫株高柳製茶、⑬株ガリバーフーズ |
| 14 | 静岡おみや 首都圏商談会 | H31. 2. 25 | 秋葉原 UDX ギャラリー (東京都千代田区) | ①有葵煎餅本家、②鍋島ハマナス園、 ③株岩清、④尾州真味屋総本舗、 ⑤有まるととづか <広域連携部会> (株)信光, 大塚園, 西光エンジニアリング (株), (有)余湖農園 <アヲミカン加工品開発部会> 牧野農園, 桃林堂, 扇松堂, 山梨罐詰株、 食彩岩生 <プロジェクト紹介ブース> <減塩部会> 焼津水産化学工業株 <GABA 部会> (株)Happy Quality, 日本オーガニック |

| | | | | |
|--|--|--|--|------------------------------|
| | | | | 株、静岡県経済農業協同組合連合会・静岡ジェイエイフーズ株 |
|--|--|--|--|------------------------------|

<これまでの主な成果>

| 事業名 | 年度 | 出展者数 | 調査時点 | 来場者数 | 商談件数 | 成約件数 | 成約金額 |
|------------------|----|------|------|---------|------|------|----------|
| スーパーマーケットトレードショー | 29 | 16社 | 1年後 | 88,121名 | 557件 | 145件 | 64,852千円 |
| SEOUL FOOD 2018 | 30 | 3社 | 6ヶ月後 | 54,200名 | 13件 | 1件 | 650千円 |
| アンチエイジングジャパン | 30 | 6社 | 6ヶ月後 | 26,966名 | 86件 | 11件 | 359千円 |

(3) 事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングの推進

専門性に特化したアドバイザーや食品分野に精通したコーディネーターにより、製品開発から販路開拓にわたる様々な相談に対応した。

| 活動内容 | 件数 |
|------------|------|
| 商品開発支援 | 113件 |
| 工程改善支援 | 12件 |
| 販路促進支援 | 194件 |
| 機能性支援 | 236件 |
| 助成金支援 | 26件 |
| 企業訪問(各種支援) | 434社 |

<サイエンスアドバイザー関連>

○機能性素材成分分析の実施

- ・GABA、DHA/EPA 計80検体

<販路開拓・拡大アドバイザー関連>

○成果品等販売支援

- ・商談成立123件(33社85品目) 水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか

(4) 機能性表示制度支援プラットフォーム利用状況 (H27年度から累計)

| 相談件数 | ヒト介入試験実施件数 | システムティックレビュー実施件数 |
|-----------|------------|------------------|
| 228(576)件 | 0(6)件 | 4(18)件 |

(5) 化成品関連産業への支援

化成品関連産業の製品開発及び販路開拓、人材育成等を支援した。

ア 化成品・加工機械コーディネーター設置

元医薬品メーカー勤務の化成品・加工機械コーディネーターを新たに採用するとともに、元化粧品メーカー勤務の事業化コーディネーターと連携し、化粧品関連企業の製品開発等の支援を行った。

イ 静岡県化粧品産業プラットフォーム設立フォーラム

県内化粧品関連産業の更なる振興を図るため、静岡市内でフォーラムを開催した。

| | |
|-----|-----------|
| 開催日 | H30.10.26 |
|-----|-----------|

| | |
|-------|---|
| 参加者 | 159名 |
| 講演 | 【講師】 元資生堂中国投資有限公司 総経理 ポーラ化成工業㈱ 主任研究員 ㈱大丸松坂屋百貨店 化粧品担当部長 |
| 名刺交換会 | 企業紹介展示に11社が出展 |

ウ 化粧品スキルアップセミナー

化粧品関連業者や化粧品分野への新規参入を考えている事業者を対象としたセミナー静岡市内で開催した。

| | |
|-----|---|
| 開催日 | H30.12.19 |
| 参加者 | 150名 |
| 内容 | 国内外の法規制、海外への輸出に関する規制、 地場産品を活用した原料開発、ネット販売を利用した海外展開など |

2 高付加価値型食品等開発推進事業

事業費 9,177,000円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ。(対象経費1/2以内、限度額2,000千円)

(1) 食品等開発助成事業

| 申請件数・金額 | | 採択件数・金額 | | 交付確定件数・金額 | |
|---------|------------------------|----------|----|------------|--|
| 7件 | 機能性食品等 6件 食品加工機械 1件 | 11,108千円 | 5件 | 同4件 同1件 | 7,923千円 5件 同4件 同1件 6,577千円 |

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 交付確定額 |
|---------------|------|--|---------|
| フジ日本精糖㈱ | 静岡市 | イヌリンを利用した機能性表示可能なシロップ製品の開発(機能性表示食品) | 2,000千円 |
| ㈱ケーイーコーポレーション | 静岡市 | A I(人工知能)化への展開を可能とするオゾン鮮度保持システムの開発(食品加工機械) | 2,000千円 |
| ㈱市川園 | 静岡市 | 茶カテキンの内臓脂肪や体脂肪の低減効果による食品開発(機能性表示食品) | 865千円 |
| 丸山製茶㈱ | 掛川市 | 栄養機能食品としての新規抹茶加工食品の開発(機能性表示食品) | 748千円 |
| ㈱荒畑園 | 牧之原市 | メタボリックシンドロームを予防・改善する機能性表示食品(茶)の開発(機能性表示食品) | 964千円 |
| 計 | | | 6,577千円 |

<これまでの成果>

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|----------|-------------|--------|-------|-----------|
| 食品等開発助成金 | H23~30(65社) | H27~29 | 13件 | 123,865千円 |

(2) 食品等開発研究会の開催

| 研究会 | 5部会: 参画企業数 | 交付確定額 |
|---------|-----------------------------------|-------|
| 育成型企業 | 広域連携部会 アヲミカン加工品開発部会 ※酒粕活用部会 | 11社 |
| 機能性素材活用 | 減塩部会 GABA部会 | 13社 |

(スケジュール)

- H30.4.25 育成型企業研究会事業説明会

- ・H30. 6. 19 育成型企業研究会事業計画発表会
- ・H29. 10. 9 静岡県大学生対象内覧会
- ・H30. 11. 22 内覧会：試食、専門家アドバイス
- ・H31. 2. 8 ふじのくに総合食品開発展出展(商談会及びマーケティング)
- ・H31. 2. 25 静岡おみや首都圏商談会出展(商談会及びマーケティング)

<これまでの成果>

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|----------|---------------|--------|-------|--------------|
| 食品等開発研究会 | H23~30 (41 件) | H27~29 | 14 件 | 1,824,465 千円 |

○各部会事業概要

| 部会(開発テーマ) | 参加企業 | 製品名 | 製品開発コンセプト |
|--------------|--|--|--|
| 広域連携部会 | 株信光(静岡市) 大塚園(藤枝市) 西光エンジニアリング(藤枝市) (有)余湖農園 | 完熟トマトスープで 味わう早炊きパエリア (パエリア) | 北海道産(恵庭市)トマトと 静岡県(藤枝市)の食品加工・製造企業のコラボ商品の開発 |
| アヲミカン加工品開発部会 | 牧野農園(牧之原市) 桃林堂(牧之原市) 扇松堂(牧之原市) 山梨罐詰㈱(静岡市) 食彩 岩生(静岡市) | まるごとみかん大福 (大福) ソルベ わらび餅 ゼリー 酢 | 未利用品(摘果みかん)の有効利用による新製品の開発 |
| ※酒粕活用部会 | (有)アニバーサリー(静岡市) 株神沢川酒造場(静岡市) | 百年の樹 正雪(バー ムクーヘン) | 酒粕の有効活用による焼菓子商品の開発 |
| GABA部会 | 株Happy Quality(袋井市) 株日本オーガニック(静岡市) 静岡県農業協同組合連合会(静岡市) | トマトとみかんジュースの機能性表示食品 | 機能性表示食品(GABAを含む)トマトとみかんジュースの開発 |
| 減塩部会 | 機能性素材(ソルケア)提供企業と連携(10社) | ふりかけ | ソルケアを活用した給食用ふりかけの開発 |

※酒粕活用部会の商品開発成果を株神沢川酒造場と株静岡ファームが継承し商品化を実現

3 産業人材育成事業

事業費 2,228,000 円

総合食品学講座を実施し、食品関連企業における製品開発の中核的人材育成に取り組んだ。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 受講者数 |
|----------------------------|---|------------------------|--|
| H30. 7. 12~10. 25 全14日間 | A:食品の加工技術 (10講座) B:食品の安心・安全技術 (8講座) C:マーケティング・販売戦略(6講座) D:実習(微生物検査技術など)(6講座) 計30テーマ | 静岡県立大学 静岡県工業技術研究所 他 | 一括受講者 : 30名 一括受講者相当 : 2名 個別受講者 : 23名 個人修了認定 : 25名 事業者修了認定 : 3社 |